21世紀石川少年の翼
交流事業報告書

2023

『21世紀石川少年の翼』実行委員会

目　次

CONTENTS

Ⅰ はじめに（実行委員会委員長あいさつ） ……… 1

Ⅱ 韓国・全羅北道青少年交流事業（派遣） ……… 3
- 私たちのリポート ……… 4
- 交流の思い出 ……… 13
- 研修を振り返って ……… 21
- 色紙よせがき ……… 22
- 資料編
  - 日　程 ……… 23
  - 名　簿 ……… 24

Ⅲ 中国・江蘇省青少年交流事業（受入） ……… 25
- 交流の思い出 ……… 26
- 訪問を終えて ……… 32
- 研修を振り返って ……… 42
- 資料編
  - 日　程 ……… 43
  - 名　簿 ……… 44

Ⅳ 「21世紀石川少年の翼」これまでのあゆみ ……… 45

Ⅴ 令和５年度「21世紀石川少年の翼」実行委員会委員名簿 ……… 46

はじめに

「21世紀石川少年の翼」実行委員会委員長
石川県観光戦略推進部長
竹　内　政　則

本県は、友好交流地域である韓国・全羅北道、中国・江蘇省、ロシア・イルクーツク州と幅広い分野で交流を展開してきております。なかでも青少年交流は、国際感覚や幅広い見識を持った青少年を育成する大切な事業との位置づけで、21世紀石川少年の翼として、平成８年度から実施しております。

新型コロナウイルスの影響により、令和２年度はやむを得ず中止しましたが、令和３年度からはオンラインによる交流を実施しており、コロナの５類移行を踏まえ、今年度は相互訪問を再開することとし、韓国・全羅北道へ中学生12名を派遣するとともに、中国・江蘇省からは高校生８名を受け入れました。

本事業への参加を通じ、次代を担う青少年同士が言葉や習慣の壁を越えて友情を育むことは、青少年にとって貴重な経験となるだけでなく、互いの国の友好親善や交流の発展にも大きな意義を有します。

特に、派遣・受入とも交流プログラムに組み込んでいるホームステイは、通常の旅行では経験できない、互いの国の暮らしぶりや生活習慣等に触れることができ、またホストファミリーと密接な時間を過ごすことで、生涯忘れられない有意義な経験となっているところです。

本事業に参加した青少年の皆さんには、今回得た貴重な経験を生かし、今後とも学校や地域において、国際交流・協力活動やボランティア活動へ積極的に参加され、草の根交流を支えていただくことを期待しています。

本事業の実施にあたっては、市町をはじめ、関係機関・団体やホストファミリー、また、韓国・全羅北道対外協力課、中国・江蘇省人民対外友好協会など多くのご関係の皆様に多大なご協力を頂いております。こうした多くの皆様方に心より感謝申し上げますとともに、今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げ、ご挨拶といたします。

韓国・全羅北道青少年交流事業（派遣）

期間：令和５年８月２日(水)～７日(月)

韓国・全羅北道の豆知識

◎位　置
朝鮮半島南西部に位置し、ソウルから約240kmの距離

◎面　積
面積は8,067km²

◎人　口
約177万人

◎地方行政区域
6市、8郡

◎道庁所在地
全州市（チョンジュ）

◎全羅北道ホームページ
www.jeonbuk.go.kr/jpn/index.jeonbuk（日本語）

Jeollabuk-Do Korea~

~Ishikawa　Japan

私たちのリポート
事前研修

事前研修

日　時　7月8日（土）10：30～
　　　　7月9日（日）12：00
場　所　石川県青少年総合研修センター
内　容　団員証交付式
　　　　オリエンテーション
　　　　事前学習
　　　　・派遣国について
　　　　・語学講座
　　　　・学校訪問の出し物決定、練習

団員証交付式

谷元　恵菜

輪島市立東陽中学校１年

令和５年度21世紀石川少年の翼韓国・全羅北道派遣の事前研修では初めての海外だったこともあり、とても緊張していました。周りには知らない人ばかりで本当に友達になれるのかなと思っていました。でも、周りの管理員の方や同じ年くらいの人、先輩とも仲良くしゃべることができて、良い人たちに恵まれたなと思いました。韓国での出し物、食事、睡眠を共にして一晩もすればとても仲良くなり、お互いのことをわかり合える仲になったと思います。

韓国の出し物の時は３つのチームに分かれて決めました。ソーラン節チーム、ダンスチーム、私たちが務めたのは○×クイズチームです。それぞれソーラン節、ダンスの振り付けを習得して皆に教える役割をもっており、クイズは問題を作り、日韓の相違点、共通点を理解するクイズを作りました。クイズは採用されず、管理員の方が考えた問題になりました。クイズを出す人を決め、ダンスとソーラン節を担当した人が分かりやすいように振り付けを教えてくれたので仲が深まった気がしました。あっという間に夜が来て、次の日になると皆で韓国研修での心構えの講座を行いました。韓国研修では持っていったら良いもの、持っていかなくても良いものを教えてくれました。あまり持っていかない方が良いらしく、ほとんどはホストファミリー先が用意してくれるとのことでした。おどろく所もありましたが、訪問後は、この６日間充実した日を過ごせたよというのを家族、学校の先生、友達に伝えたいと思いました。

韓国に関する事前学習

韓国に関する事前学習

学校訪問の出し物練習

オリエンテーション

学校訪問の出し物練習

1日目　8月2日（水）

6:35	小松空港集合	12:05	羽田空港発（NH863）
7:00	結団式	14:25	金浦空港着
7:40	小松空港発（NH752）	18:30	全州着
8:50	羽田空港着	19:00	ホストファミリー対面式

結団式

場　所　小松空港２階「小松」
次　第　団長挨拶
　　石川県知事　馳　浩
　団員代表挨拶
　　津幡町立津幡中学校３年　竹口　徹

結団式

結団式（団長挨拶）

結団式（団員代表挨拶）

ホストファミリー対面式

場　所　全州市内レストラン
次　第　ホストファミリーと対面
　団員代表挨拶
　　金沢市立西南部中学校２年　天田　朋杏

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式（団員代表挨拶）

ホストファミリー対面式

ホストファミリー対面式

竹口　徹
津幡町立津幡中学校３年

一日目は小松空港で結団式を行い、小松空港から羽田空港、羽田空港から金浦空港へ飛行機を乗り換えて、韓国へ移動しました。飛行機からはたくさんの高層ビルが見えました。韓国に実際に着いた時、空港のアナウンスや広告が韓国語で、本当に韓国に来たんだと実感して感動しました。飛行機を降りてからはバスで全州に移動し、ホストファミリーと対面し、食事をしました。バス内ではみんなが緊張してソワソワしていたのに、実際に会ってみるととてもやさしく話も盛り上がって簡単に緊張が解けました。食事を終えホストファミリーの家に案内された後、お土産を交換し合って一緒にゲームをして一日目を終えました。これからの訪問の期待がとても高まった一日でした。

天田　朋杏
金沢市立西南部中学校２年

私たち団員12名は、初めて行く国への興味と期待の気持ち、事前に言語や文化などを調べてきてはいましたが、やはり、他の国のことなると、想像もつかず不安の気持ちも少しありました。そんな気持ちを胸にし、韓国へ出発しました。

韓国に着くと、看板もメニューも全て韓国語で、聞こえてくる音楽も、流れている映像も日本とは違い、とてもワクワクしました。

ホームステイ対面式では、とてもあたたかい家族に迎えてもらいました。お互いのことを教えあったりして、とても楽しい時間を過ごしました。

2日目　8月3日（木）

11:00　少年の翼訪問団の両県道知事表敬訪問
12:00　ホームステイプログラム

少年の翼訪問団の両県道知事表敬訪問

場　所　全羅北道庁
次　第　両県道知事挨拶
　　　　団員代表挨拶
　　　　　金沢市立西南部中学校３年　田口　美愛
　　　　懇談

表敬訪問（団員代表挨拶）

表敬訪問

表敬訪問（両知事へ質問）

ホームステイ

ホームステイ

田口　美愛
金沢市立西南部中学校３年

　私が一番緊張していたのが道庁訪問でした。たくさんのカメラに囲まれ不安な気持ちもありましたが、キム知事をはじめたくさんの方が歓迎してくださり、有意義な時間を過ごすことができました。道庁訪問を終え、私たちは各家庭でのホームステイプログラムを行いました。その中で、特に楽しかったのは一緒にショッピングをしたことです。韓国のダイソーにいったり、プリクラやゲームで遊んだりしてたくさん思い出ができました。様々な韓国料理を食べることもでき、とても内容の濃い一日となりました。

表敬訪問

表敬訪問

ホームステイ

田中　芙樹
加賀市立山中中学校２年

　２日目は全羅北道庁の訪問があり、朝早かったので車で行く途中にキンパを買ってもらいました。人生初キンパはとても好みの味で驚きました。訪問が終わった後は、ホストファミリーのおすすめのお店でカルビタンを食べました。熱くてトロトロで忘れられない味です。それからは、ホストファミリーとショッピングを楽しみました。コスメやパックなどいろんな種類がたくさんあり、さすが美容大国だなと思いました。しばらく買い物をしていると店員のお兄さんが「ありがとうございます。」と言ってくれて、お会計をした後にポーチとショルダーをプレゼントしてくれました。日本のことに関心を持ってくれているということとお兄さんの優しさにとても感動しました。
　また、ホストファミリーの家ではヤミーという猫を飼っていてはじめはすごく警戒されていたけどだんだん近づいてきてくれて二日目あまり眠れなかった私のそばにずっといてくれました。本当にかわいい子でした。
　ホストファミリーはなかなか体験できないことをたくさんさせてくれて、韓国のスターバックスにもサーティーワンにも洋服屋さんにも連れてってもらい、同じメーカーだとしても全く違うお店のように感じました。本当にいい家族に出会えてうれしかったです。また、韓国へ行ってみんなと会いたいです。

3日目　8月4日(金)

14:00　ホームステイ先より集合
14:30　文化体験(韓紙工芸体験)
17:00　八福芸術工場見学
18:00　夕食

ホームステイ先より集合

ホームステイ先より集合

ホームステイ先より集合

ホームステイ先より集合

ホームステイ先より集合

韓紙工芸体験

韓紙工芸体験

八福芸術工場見学

八福芸術工場見学

八福芸術工場見学

夕食（カルグクス）

十二　友里

国立金沢大学附属中学校１年

　韓国滞在３日目は、韓紙工芸体験をしました。韓紙は手触りも見た目も和紙によく似ていて、風合いも柔らかく、手で千切ると韓紙の魅力をさらに引き出すことができました。みんなで話しながら手を動かし、どのようにすれば韓紙の良さを活かしながら個々それぞれにとって良いデザインを作れるかを考えました。私は海をイメージして作ることにしました。完成したしおりを見ると、みんなとの韓国での時間を思い出すことができ、とても貴重な体験になりました。

生地　薫

金沢市立北鳴中学校２年

　ホストファミリーと過ごした３日間は自分にとって忘れられないものとなりました。ホストファミリーとは韓国の伝統料理を食べたり、地元のショッピングモールで色々と買い物をしたりしました。
　初めての韓国で、右も左も分からず不安な時にホストファミリーは僕のことを温かく受け入れ、いつも気に掛けてくれました。来年はホームステイ先の子が日本に来ると意気込んでいたので、韓国で自分が受けた以上の温かみのあるおもてなしをしようと思います。

4日目　8月5日(土)

10:30　全州槿暎中学校訪問
11:30　全州市立図書館見学
12:30　昼食
14:00　群山月名中学校
16:30　世界スカウトジャンボリー大会見学
18:00　夕食

学校訪問①

場　所　全州槿暎（チョンジュクニョン）中学校
次　第　校長先生からの歓迎挨拶
　　　　団員代表挨拶
　　　　　金沢市立北鳴中学校２年　生地　薫
　　　　交流会
　　　　　国際交流に関する授業
　　　　団員代表挨拶
　　　　　加賀市立山中中学校２年　田中　芙樹

槿暎中学校訪問（南中ソーラン）

槿暎中学校訪問（校長先生に挨拶）

槿暎中学校訪問（○×クイズ）

槿暎中学校訪問（空手披露）

槿暎中学校訪問（団員代表挨拶）

全州市立図書館見学

全州市立図書館見学

槿暎中学校訪問（国際交流に関する授業）

槿暎中学校訪問

米田　果央
星稜中学校１年

学校訪問に行きました。学校では、ソーラン節と「アイドル」のダンスを披露したり、○×クイズをしました。ソーラン節とアイドルはみんなで一生懸命踊ることが出来ました。一人一人の動きがしっかりしていて良いパフォーマンスができていたと思います。韓国の中学生もダンスを披露してくれました。そのダンスのクオリティがとてもすごくて“本物！？”ととてもびっくりしました。○×クイズでは、より日本や石川県のことを知ってもらえたと思います。韓国の学生さんたちにも、楽しんでもらえてそうだったので、良かったです！全州槿暎（クニョン）でホームステイさせてくれた“김도희”と再会することが出来ました。再会した時にも、優しく話をしてくれて、とっても嬉しかったです。

学校訪問②

場　所　群山月名（クンサンウォルミョン）中学校
次　第　歓迎挨拶
　　　　交流会
　　　　　韓国伝統楽器（チャング）体験
　　　　団員代表挨拶
　　　　　輪島市立輪島中学校３年　冨水　埜亜

昼食（とんかつ）

夕食（チキン）

月名中学校訪問（記念撮影）

月名中学校訪問（伝統楽器体験）

月名中学校訪問（伝統楽器体験）

月名中学校訪問（団員代表挨拶）

世界スカウトジャンボリー大会見学

世界スカウトジャンボリー大会見学

冨水　埜亜

輪島市立輪島中学校３年

　今日は、全州中学校と月名中学校に行き、学生のみんなと交流しました。初めに全州中学校に行きました。練習してきたダンスを発表しました。そしたら中学校のダンス部の方々が私達にダンスを披露してくださいました。とても上手で凄かったです。流石未来のアイドルだと思いました。

　ダンスの後は石川県クイズ（日本）をしました。とても楽しんで貰えたので良かったです。その後にみんなで写真を撮りました。違う部屋に移動して日本と韓国のプレゼンをしてもらいました。中学校の人たちが毎日どんな勉強をしているのかとかどんな事をしているのかを教えてもらい、とても多くのことを学ばせてもらいました。次に郡山月名中学校に行きました。月名中学校でも同じようにダンスとクイズをしました。その後にみんなで、韓国で有名な太鼓を叩きました。太鼓を叩く際に使う棒はとても持ち方が独特で、音を綺麗に叩くのがとても難しかったです。

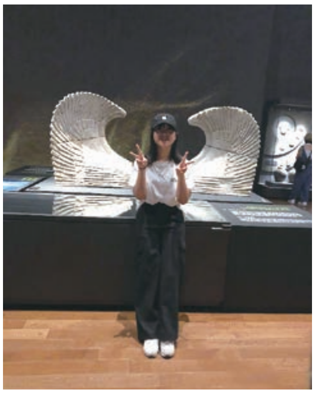
　最後に皆で握手をして石川県のものを渡して写真を撮って終わりました。とても楽しい一日でした。

5日目　8月6日(日)

9:40 国立益山博物館見学
11:30 昼食
14:00 国立全州博物館
15:30 韓屋村見学(韓服体験)
18:00 ビビンバ作り体験、夕食

益山博物館

全州博物館



益山博物館

全州博物館

全州博物館

昼食（テジカルビ）

カフェ

韓屋村散策

東　ゆり

志賀町立富来中学校２年

最終日、博物館見学に韓服体験、ビビンバ作りと盛りだくさんな一日でした。国立益山博物館と国立全州博物館での見学の際は、社会の授業で習う百済や新羅など、色々と結び付けて説明を聞くことができたので、とても興味深い場所でした。

韓屋村では、韓国の伝統である韓服の体験をし、みんなで韓屋村内を歩いたことは忘れることの出来ないほど良い思い出になりました。また、そこでビビンバ作りを体験しました。自分で作るビビンバはとても美味しく、さらにビビンバの本場、全州で食べるのは別格でした。

とても楽しく、勉強になる一日でしたが、時間が経つにつれ、明日の帰国が寂しくなる、そんな一日でした。

韓服体験

山下　月
金沢市立野田中学校３年

まず私たちは、国立益山博物館を見学しに行きました。そこでは日本人女性の方に博物館の中をガイドしてもらいました。日本語に訳してもらったので、韓国の歴史をとても分かりやすく学ぶことが出来ました。そのあとは、韓屋村に行って韓服体験とビビンバ作り体験をしました。韓服体験は、一人一人自分に似合う服と、髪型をしました。ビビンバ作り体験は、自分の好きな盛り付けにしたりしました。人それぞれの味の好みが違って面白かったです。

韓服体験

韓服体験

韓服体験

ビビンバ作り体験

ビビンバ作り体験

韓服体験

ビビンバ作り体験

6日目　8月7日(月)

10:00	金浦空港着	17:05	羽田空港発(NH755)
12:45	金浦空港発(NH864)	18:05	小松空港着、解団
15:00	羽田空港着		

帰国

帰国

坂野　晋作
金沢市立浅野川中学校１年

　朝の５時に起床し、バスへ乗車しました。空港に到着。朝ご飯はチョコの入った菓子パンでした。そしてチェックインをして飛行機に搭乗。羽田空港への飛行機の中で機内食を食べました。機内食は行きの飛行機とは違い、少し辛い韓国風カレーでした。

　羽田空港に着くまでくつろぎました。羽田空港に到着後、日本円に両替しようとしましたが両替するお金がありませんでした。チェックインし飛行機に搭乗するまで待機。そして飛行機に搭乗。小松空港に到着し、最後に挨拶をして解団しました。

帰国

帰国

解団挨拶（坂野晋作）

交流の思い出

最高に楽しかった６日間

金沢市立浅野川中学校１年　坂野　晋作

21世紀石川少年の翼事業の一環として日本から韓国の全羅北道へホームステイに派遣されたことは、僕の心に深く残る忘れられない経験となりました。

この文化交流の旅に乗り出したとき、興奮と緊張が入り混じった気持ちでした。

僕は今回の交流を通じて一番成長できたことは色々な人と対話し、言葉使いが堅苦しくなくなったり、外国人に対して外国語を使い自分から話しかけられるようになりました。

最初に知事にお会いして「未来の外交官」とお話くださったのを聞いて、胸が高鳴ったのと同時に石川県の代表という立場にとても緊張しました。

全羅北道に到着した瞬間、温かい笑顔とフレンドリーな顔が迎えてくれました。馴染みのない、しかし魅力的な環境は、世界がいかに多様であるかを実感させてくれました。

僕がとても感動した場面の一つは、ホストファミリーと一緒に食べた伝統的な韓国料理です。食べ物の香り、手の込んだ料理の盛り付け、そして僕たちが交わした心からの会話が、友情を生み出しました。言葉の壁にもかかわらず、僕たちは笑いとジェスチャーを共有することでつながりました。

ホストファミリーとは、インターネットカフェやマーケット、ゲームセンターに連れて行ってもらいました。地元の通りを散策することで、全羅北道の人々の日常生活を目の当たりにすることができました。このような瞬間に、共通点を見つけながら違いを評価し尊重することを学びました。

ビビンバ作りや韓国伝統の紙工芸体験などの地元の活動に参加することで、その文化にどっぷり浸ることができました。僕の最初の試みは不器用でしたが、地元の人々の忍耐と励ましのおかげで、達成することができました。

ホストファミリーや他の参加者と築いた友情は、僕にとって最も大切な思い出の一部です。連絡先を交換し、連絡を取り合うことを約束したとき、僕たちは真のつながりにおいては、距離は単なる数字にすぎないことに気づきました。

僕を温かく迎え入れてくれた人々や場所に愛着が湧いてきました。全羅北道を離れるとき、僕はこのホームステイ中に経験した個人的な成長を振り返りました。視野は広がり、コミュニケーションスキルは向上したと思います。

この石川県少年の翼プロジェクトでの経験は、異文化への理解と尊重に根ざした外交の大切さを学びました。日本に帰国したとき、私は思い出や友情だけでなく、溝を埋めて世界の調和を促進するという新たな決意も携えていました。僕の人生を変える最高の経験になりました。本当にありがとうございました。

韓国でのホームステイを終えて

国立金沢大学附属中学校１年　十二　友里

今回の韓国研修において様々な新しい体験をすることができましたが、一番印象に残っているのはホームステイです。

ホームステイ初日は、緊張していたということもありましたが、英語が通じると思っていたホストファミリーに英語が通じないとわかり、韓国語も日本語も話せないパニック状態に陥り、とても疲れました。

ホームステイ二日目は、全羅北道庁にて知事さんを表敬訪問しました。そして、家に帰るとホストファミリーのお父さんがベッドを指さして何か言ってくれました。私は多分「休憩したら？」という意味だろうと思い、少し休憩した後に、皆で出かけることになりました。まず商店街のようなところでラーメンを食べて、おやつを買いました。その後にショッピングセンターへ行き、Tシャツや韓国のお菓子などをたくさん買ってもらいました。そこでサーティーワンのアイスを食べましたが、韓国でのスモールサイズは日本のスモールよりも格段に大きくて驚きました。夜ごはんには、焼肉を食べました。大きいお肉を焼いて、ハサミで切って食べました。食べた後に、さくらんぼ飴を食べました。りんご飴のさくらんぼバージョンみたいな感じでした。さらに韓国のプリクラも撮りました。韓

国での体験は何もかもが初めてで、とても興味深かったです。夜は、ホームステイ先の子と一緒に広いベッドで寝ました。ホストファミリーの方々は、いろいろと心配したり気にかけてくれたりと、とても優しかったです。言葉の壁はありましたが、翻訳アプリを使って、少しずつ意思疎通をはかれるようになっていき、次第にリラックスして楽しめるようになりました。そして少し慣れてきたと思った頃には、もうお別れの日になっていました。

振り返ると、あっという間の二日間でした。今思うと、はじめからもっと交流できていたらより良い時間になったのではないかなと思います。翻訳アプリのように便利な道具のおかげで交流はできましたが、アプリに頼りすぎてしまい、もっと実際に自分の言葉で話したかったという思いが残っています。

もし、いつか家に韓国の子が来ることがあれば、今回の経験を活かして、その子が日本を楽しめるようにいろいろと気を配ってあげたいと思いました。

今回の研修を通して

金沢市立北鳴中学校２年　生地　薫

韓国に降り立って初めに感じたことは、ほとんど日本と変わらないということだった。人々の顔は日本人そっくり。景色も文字以外は日本とあまり変わりがなかった。

ホームステイ先ではホストファミリーが温かく出迎えてくれ、受け入れられて安心した。細かい気遣い、心遣いも沢山してくれた。細かい心遣いができるのは日本人の特徴だと思っていたが、それは私の思い込みだったようだ。そしてホームステイ先の男の子も僕と同じでゲームや音楽が好きだった。音楽も日本の曲をよく聞いているらしく、私もK–POPを聞いていたので共通点が多くより親しみを持てた。

滞在中には、楽しみにしていた様々な韓国料理（サムギョプサル、ビビンバ、トッポギなど）を食べた。韓国料理と言えば、辛い物ばかりだと思っていたが、辛い中にも独特の甘さがあり、不思議な感じだった。そして、食事毎にキムチが出てきた。キムチ＝白菜＋唐辛子だと思っていた。しかし、キムチの中には、白菜の浅漬けのような唐辛子無しのものもキムチと呼ばれていることを知った。新しい発見が沢山あった。

私は今まで日本人、韓国人、アメリカ人…という国別で人種を分け、その国のイメージをそのままその国の人の特徴だと思っていた。しかし、今回の研修を通して、一個人として相手を見ることが大切だと実感した。ニュースやＳＮＳでの情報を鵜呑みにせず、『自分の目で確かめること』『他の見方もあるのではないかと視点を変えて考えていくこと』が大切だと気づかされた。今の時代はＳＮＳやオンライン等での国際交流も盛んだが、これらの交流では得られない直接体験の重要性を伝えていきたいと思う。また、来年は韓国の生徒を、ホームステイ先として受け入れ交流できることを楽しみにしている。

最後にこの研修に参加するきっかけと費用を出してくれた両親、お世話をしてくださった団長を始め県職員の方々、ホストファミリー、ガイドの皆さん、韓国の皆さん、そしてこの11人の仲間に心より感謝申し上げます。

言葉の壁を越えて

金沢市立西南部中学校３年　田口　美愛

家に団員決定の通知が届いたとき、私は嬉しくて飛び上がりそうでした。パスポートを取ったり、持ち物の準備をしたりとやらなくてはいけないことは多かったですが、韓国に行けると思うとどんなことでも楽しく特別に感じました。

いよいよ出国の日。楽しみと不安の入り混じった気持ちで飛行機に乗りました。そして二時間という短いフライトを終え、私たちは金浦空港に着陸しました。降りた瞬間から聞こえるたくさんの韓国語、あちこちに書かれているハングルに圧倒され、これからどんなことを経験するのだろうとわくわくしました。

ホストファミリーとの対面式では初めは緊張していましたが、同い年のユジンちゃんがスマホの翻訳機能を使ってたくさん話しかけてくれたおかげで段々と打ち解けることができました。夜景を見せてくれたり、

ショッピングに連れて行ってくれたりと、ホストファミリーには本当にお世話になりました。その中でも特に記憶に残っているのは、仙遊島の海水浴場にあるジップラインに乗ったことです。あたり一面海の中、風を受けながら下って行くのが新鮮で楽しかったです。景色もとても綺麗で海はもちろん海を囲む山々まで一望できました。

そして、その後過ごした団員との時間もとても楽しく、いい思い出になりました。一番楽しみにしていたのは韓屋村の見学です。初めて着た韓服は着物と比べるととても軽く動きやすさに驚きました。他にも博物館で歴史に触れることができたり、ビビンバづくりで食文化を感じたりと、様々な面から韓国について知ることができました。

韓国で過ごした時間は本当にあっという間で、すぐに帰国する日がやってきました。飛行機の中で優しくしてくださった全羅北道の方達のことを思うと心がいっぱいになりました。また韓国へ行ってみんなに会いに行きたいです。

私は今回の訪問を通して韓国の文化や伝統にたくさん触れることができました。実際に訪問したからこそわかった、雰囲気や空気感も学ぶことができました。

その中で気づいたことがあります。それは言葉がわからなくてもわかり合えるということです。日本ではあまり大切だと感じにくい表情や身振り手振りが、韓国では気持ちを伝える大切な手段になりました。それを通して相手の気持ちがわかったり、私も気持ちを伝えたりできたのです。それは私にとって大切な気づきなのではないかと思います。

最後に今回の派遣を支えてくださった団長、管理員の方々、団員のみんな、そしてホストファミリー。本当にありがとうございました。皆さんのおかげでこんなにも楽しい時間を過ごすことができました。この感謝を忘れずに、これからもいろいろなことに挑戦したいです。

韓国の思い出

津幡町立津幡中学校３年　竹口　徹

私は21世紀石川少年の翼韓国全羅北道派遣団員として韓国に行ってきました。人生初の海外だったので、ずっとワクワクしていました。韓国語をまともに使えないから少し不安でしたが、それを超える無性のワクワクでいっぱいでした。小松空港を発ち羽田空港へ、羽田空港から金浦空港に飛行機を乗り換えて韓国に移動し、飛行機を降りると広告やアナウンスが韓国語で、本当に韓国に来たのだなと実感して感動しました。

韓国訪問で一番楽しかったのは、ホームステイです。ホームステイ先の人たちと会う前は、なにを話せばよいか、失礼なことをしてしまわないかなど不安でしたが、実際に会ってみると、これからしたいことなどたくさん聞いてくれるし、韓国のマナーも優しく注意してくれたりして、安心しました。ホストファミリーのゴンフ君と弟のドゥオン君は、どちらもゲームやアニメが好きでマインクラフト、ポケモン、スラムダンク、ハンターハンターなどたくさん共通の話題の話で盛り上がって、とても仲良くなれました。次の日、お母さんに出していただいた食事がとても美味しかったです。キムチやブドウ、かき氷が特に美味しかったです。ホストファミリーの皆さんが本当に優しくて、自分が疲れているのに気が付くとおいしいかき氷のお店を紹介してくれたり、一度帰宅して休むことを提案してくれたりと優しさに頭が上がりません。本当にお世話になりました。

ホストファミリーと別れた後は、ゴンフ君の学校を訪問したり、世界スカウトジャンボリー大会の見学をしたりしました。学校では、ここでゴンフ君が毎日勉強しているんだなと感じたり、世界スカウトジャンボリー大会では世界から集まったボーイスカウトの人々と出会って、世界の広さを感じたりしました。それに反して、日本のボーイスカウトのテントを訪れた時には、石川の能登出身の人もいて、世界の狭さを感じました(笑)。

この経験を通じてたくさんのことを学び、もっと外

国のことを知りたくなりました。この訪問の経験をこれから活かし、自分の人生をもっと豊かにできたら良いなと思います。21世紀石川少年の翼の関係者の皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

たくさんの出逢い

加賀市立山中中学校２年　田中　芙樹

「遊べる夏休みは今年が最後です。」とたくさんの先生に言われ、今年の夏どんなことでも挑戦すると決めた私は、この21世紀石川少年の翼のポスターを見てときめき、勢いで応募をしました。人生初を詰め込んだような一生の思い出になる旅でした。

不安と楽しみを抱えて乗った飛行機はとてもゾクゾクしました。着いたとたん景色も匂いも聞こえる言語も変わって不安が大きくなりましたが、初めて日本の外に出たということに感動し鳥肌が立ちました。

そして迎えたホームステイ。ホストファミリーはとてもやさしく、親しく接してくれて特にお姉さんは戸惑う私の手をいつも引っ張ってくれました。ホストファミリーが営んでいる焼肉屋さんでは、サムギョプサルや韓国式チャーハン、みそ汁、キムチなどたくさんのおいしいものを食べました。お別れの時にお母さんやお姉さんがぎゅっとハグをしてくれて、たくさんプレゼントをくれました。その時もらったものはすべて私の大切な宝物ですが、一番の宝物はこの家族に会えたことだと思います。短い時間でしたが、楽しいホームステイをありがとうございました。

私が一番楽しみしていた学校訪問ではとてもかっこいいダンスをみせてもらったり、日本と韓国のかかわりを学ばせてもらったり、韓国の伝統を体験したりしました。どちらの学校でもほとんど会うのが初めての韓国人学生ばかりだったけど、すごく優しく接してくれたり一緒に写真を撮ってくれたり、ＳＮＳを交換してくれたり、フレンドリーな人たちばかりで最高に楽しい交流でした。簡単な韓国語と英語でとても仲良くなりました。四日目以降は、美術館や博物館の見学をしたり、チマチョゴリを着たり、いろんな韓国の伝統について学びました。目に映るものすべて、私にたくさんの刺激をくれてとても興奮しました。どれも貴重な体験で忘れることのできない思い出です。

私がこの旅で一番強く感じたことは団員たちと協力して過ごす難しさとその大切さです。一人で旅をしているわけではないので団員たちとはもめたり、泣いたりすることもありましたが、同年代の子が一緒にいることで分かり合えることやふざけあうことが出来てとても強い心の支えでした。このメンバーのおかげで死ぬほど笑えて楽しい旅になりました。団員たちとは今回の旅だけでなくこれからも関わりたいなと思いました。

外国に行くと世界が広がるとよく聞きますが本当に自分が今まで過ごしていた世界の狭さを感じました。今回の旅で出会えた皆さんへ本当に心からの感謝を伝えたいですし、自分の力でまた会いに行けるよう、旅で学んだことを活かして充実した学生生活を送ります。また、今回の旅へ行くことを勧めてくれた家族や引率してくれた管理員の皆さん本当にありがとうございました。

６日間の韓国研修

輪島市立東陽中学校１年　谷元　恵菜

私が韓国に行くきっかけは学校のチラシからでした。以前、グローバルキャンプで韓国の先生に出会い韓国と日本の文化の違いを知って、韓国に興味を持ったため参加したいと思いました。書類審査を通り面接を受け、韓国派遣団員に選ばれた時はとても嬉しい気持ちもあったけれど緊張と不安の気持ちの方が大きかったです。その後、実際にホストファミリーと対面し、関わっていくうちに私のことを家族の一員として優しく接してくれたことや、英語やジェスチャーでコミュニケーションを取っていくうちに、いつしか緊張は消えていました。ホストファミリーと一緒に過ごした日々で楽しかったことは、ホストファミリーの姉弟とその友達でウォーターパークに行ったことです。韓国のウォーターパークは近所の市民プールの何十倍もある大きさでした。みんなで泳いで、タッチ遊び（鬼

ごっこ）や、ボールを使ってドッチボールをしたり、バレーボールをしたりと日本での遊びと一緒で楽しくて、あっという間に時間が過ぎました。その日のお昼はＢＢＱをしました。韓国のお肉は鶏がメインで大きな塊から切って焼くのを見て衝撃を受けました。しかし、日本の鶏肉と似ていて美味しかったです。また、野菜は焼かず、ソーセージをたくさん焼いていたことは、日本との違いかなぁと感じました。キムチは韓国が本場なので日本とは比べ物にならないくらい辛かったです。最後の夜にホストファミリーの姉弟と謎のホットケーキ作りをしました。作り方は一人が粉を合わせ私が混ぜる係をしました。その後冷蔵庫に冷やしました。時間が経つと混ぜた生地が倍の量に膨れていて上手く焼けずに失敗してしまいました。ですが、楽しい思い出の一つです。

次に、韓国の学校との交流です。日本の団員のソーラン節、流行りのダンスを踊った後、韓国の生徒が韓流ダンスを披露してくれました。そのダンスがとてもかっこよくて素敵でした。最終日の前日は韓国の民族衣裳であるチマチョゴリを着ました。最初は動きにくそうと思っていましたが、実際に着てみると動きやすく、ドレスの模様がとても美しいと思いました。

最終日はビビンバ作りです。家ではほとんど食べませんが、本場のビビンバは思ったより作りやすかったです。しかし、コチュジャン２杯でとても辛かったので次食べるときは考えて入れたいです。

最後に21世紀石川少年の翼での経験は私にとって忘れることの出来ない貴重な体験、思い出になりました。いろいろと関わり、協力してくださったみなさんのおかげだと思っています。私が経験した韓国での学びを伝えていきたいと思っています。

濃すぎた６日間

金沢市立西南部中学校２年　天田　朋杏

私は今回の、「21世紀石川少年の翼」で、派遣団員として、韓国の全羅北道に行きました。初めての韓国、そして初めての海外、初めてづくしの旅となりました。

初日はホームステイ対面式をしました。グムヨンちゃんという女の子のいる家族でした。笑いの絶えない家族で、本当にあたたかかったです。翻訳アプリをフル活用して、お互いの好きなものや嫌いなものを、話したりしていると、K-POP好きだという共通点が見つかりました。その後グムヨンちゃんは、夜遅いのに英語の塾に行きました。韓国は、塾に行っている人がほとんどだそうです。私は、塾に行っていないことを伝えると、ホストファミリーは驚いていました。ホームステイ先の家の周りにも塾が、びっくりするほどありました。翌日はホストファミリーと、ショッピングにいったり、ラッポッキを一緒に作ったり、日本のイケメンを紹介したり、と、楽しく過ごしました。言語や文化が違っても、イケメンが好きなのは一緒でした(笑)！３日目、ホストファミリーとのお別れは、本当に寂しかったです。でも、また絶対に会おうと約束をしました。３日間ホストファミリーと、夢のような時間を過ごすことが出来ました。

残りの日は、私は体調を崩してしまって、ホテルで待機をしていました。熱が上がってしまったため、韓国の総合病院に行くことになりました。そこでは、血圧を測ったり、血液検査、レントゲンのようなものなど、普段は健康な私が、初めてそのような基本検査をしました。韓国の病院は、日本とは違うところが沢山あり、周りの人に沢山迷惑をかけてしまったけれど、普通では出来ない経験が出来ました。

最終日になり、家族が待つ国へ帰れる安心感と同時に、韓国を離れる寂しさが込み上げてきました。優しく迎えてくれたホストファミリーや、体調不良の私の看病をしてくれた管理員の方、全羅北道庁の方々、今回の派遣に関わってくれた全ての方のおかげでこうして最終日まで来られたのだと思うと、沢山の方に感謝しなければならないと思いました。

本当にいい思い出が出来ました。ありがとうございました。감사합니다!!

短くて長い５日間

輪島市立輪島中学校３年　冨水　埜亜

私は、今回が初めての海外旅行なので、とても不安と楽しみな気持ちが混ざっていました。不安な気持ちが積もったまま当日がやってきて、みんなも不安な気持ちだと言うことを知りちょっと安心しました。

最初に小松から羽田に行きました。そうすると不安より緊張の方が強くなってドキドキしていました。緊張しているうちに飛行機に乗る時間が来て、とても焦りました。そして、韓国に着き、韓国語が沢山書かれていて、本当に韓国に着いたんだと実感が湧きました。バスに乗ってホームステイ対面式の場所に向かいました。バスの中で自分の事を受け入れてくれるホームステイ先の方がどんな人なのかとても楽しみな反面、不安も緊張もありました。私たちが対面式の場所に着いた頃にはほとんどの方々が来ていました。

皆が席についた後、どの人が私が行く家の人達なのか周りを見渡していると、自分の名前が呼ばれました。行くと優しそうな方たちだったので、とても嬉しかったです。私が不安そうにしていると日本語で色々な事を聞いてくれてビックリしました。韓国に行って韓国の方が日本語を喋っていることにとても驚いて、色々なことを話したり質問したりしました。対面式が終わって買い物に行き、沢山買ったり買ってもらったりしました。とても不安だった気持ちが一瞬でなくなりました。私の不安が無くなったのはホームステイ先の方々のおかげだと思いとても感謝しています。

ホームステイの方とお別れの時が来て色々なお土産を貰いました。スーツケースに入らないぐらい沢山貰いました。お別れした後、団員のみんなで紙を使ってしおりを作る事をしに行きました。とても難しかったです。

私が１番楽しかった事は、韓服体験です。自分で韓服の色を選び着るのですが、私は友達に服を選んでもらいました。服を選んだ後に髪の毛もセットして貰い、とても嬉しかったです。

みんなとても似合っていて、自分だけ浮いてないか心配でした。だけど皆に似合っているよと言われたので安心しました。とても楽しくて日本に帰りたくなかったです。この事業を支えてくださっている皆様に本当に感謝しています。

魅力の国、韓国へ

志賀町立富来中学校２年　東　　ゆり

私はこの夏、今までで一番大きな挑戦でした。この「21世紀石川少年の翼」の派遣団員に内定してから少しの不安と多大な期待を抱きながら出国の日へと準備を進めていました。「韓国で働きたいから。」「K-popアイドルが大好きだから。」こんな理由を動機に応募をし、この派遣学習を通じて、自分の夢に確信と自信を持ちたかったのです。初めての海外、初めての飛行機に不安を感じながらも、母に見送られ、気が付けば機内に乗り込んでいました。そこからは不安が襲い掛かり羽田空港までの記憶は正直、思い出せません。ですが、私が初めて海の上を、町の上を飛んだときの高揚感はしっかりと覚えています。

羽田から金浦空港へ。「まもなく着陸態勢に入ります。」そんな機内アナウンスとともに私の心が高鳴りました。「ついに、憧れの韓国が…」。飛行機から降り、入国審査の場につけば韓国へ来たという現実を改めて気づかされたように思いました。

入国してからの約５日間、たくさんのものに驚かされ、楽しみ、学びました。その中でも私が一番感銘をうけたのは「おもてなしの心」です。私は、日本はとても思いやり精神が強く、状に溢れた温かい国だと思っていました。しかし、韓国に行き、たくさんの人にお世話になり、コミュニケーションをとったことで新たな発見がありました。韓国は日本と違う形の優しさを持つ、「おもてなしの心」に溢れた国でした。

ホームステイ先の家族。対面式が終わった後、家にお邪魔させて貰った時には、風船などで部屋を装飾し、おいしそうなチョコレートケーキと共にお母さんが優しい笑顔で出迎えてくれました。一緒に映画を見てくれたり、ショッピングモールを２人で歩いてくれたりとたくさんの素敵な思い出を貰いました。また、韓国語が不十分な私にも積極的にコミュニケーション

をとろうと、翻訳アプリなどを使って一生懸命会話をしてくれたことは忘れることが出来ないほどうれしかったです。

まな板職人のキム・スヨン先生。ホームステイ先の家族に連れて行ってもらったまな板作り体験では、私が日本人であることを聞いて、英語や日本語で一生懸命教えてくれようとしてくれたことが、私にはとても嬉しかったです。

ビビンバ作り体験でお世話になったおかみさん。ビビンバ作りの説明だけでなく、日本語で明るく話しかけてくれて、とても気軽に楽しくお話させて貰いました。

日本とは、また違った優しさを持つ韓国。このような人達に会えたことで、私の挑戦は素晴らしい形で終えることが出来ました。そして、私の韓国で働くという夢に自信を持つことが出来ました。この夏、21世紀石川少年の翼を通し、出会うことの出来た人達には、一生に忘れない最高の思い出ができたということと一緒に「本当にありがとうございました」ともう一度伝えたいです。

最後になりましたが、派遣に関わっていただいた団長や管理員の方々、韓国でお世話になった方々、新たにできた友達、近くで支えてくれた家族には本当に感謝しています。ありがとうございました。

一生物の経験

金沢市立野田中学校３年　山下　　月

私は今回、21世紀石川少年の翼の派遣団員として韓国に行きました。初めての海外で、楽しみだったけれど、海外に行くことに対しての不安の方が大きかったです。

出発の日は、初めて飛行機に乗る時は、わくわくと緊張感がありました。そして飛行機を乗り換えて韓国の金浦空港に着きました。当たり前に空港の中では、韓国語が、飛び交っていて、自分は本当に韓国に来たんだなと実感しました。

私は韓国にいた６日間で心に残っていることがいくつかあります。

一つ目は、ホームステイです。ホストファミリー対面式の時、緊張している私に簡単な日本語で話しかけてくれました。韓国語が少ししか話せない私に優しく接してくれました。家族みんなで、韓国版ダイソーに行きました。日本のダイソーと違って、お菓子やメイク用品、スキンケア類、ヘアゴム、帽子など、日本には売っていないようなものでも売っていました。またダイソーで二つ年下のジュアちゃんとおそろいのものをたくさん買いました。韓国に来て、普通ならできない経験をたくさんさせていただいて本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また会えたら良いなって思いました。

二つ目は学校訪問です。私たちは二つの中学校を訪問しました。最初に訪問した全州槿暎中学校との交流会では、○×クイズとダンスをしました。ダンスでは、韓国の学生たちが音楽に合わせて拍手をしてくれました。二つ目の月明中学校では、韓国の伝統楽器を学べて楽しかったです。

三つ目は、韓屋村での体験です。韓屋村では、韓服体験とビビンバ作り体験をしました。韓服体験は、自分が好きな色を来ました。髪型もしてもらって、めったにできない体験ができて良かったです。ビビンバ作りは、自分の好きな辛さにして食べました。私は、あまり辛いのが得意じゃないので、少し甘めにしました。とてもおいしかったです。

この６日間で私は、文化や生活の違い、他国の人と、どう接すればよいかということを学ぶことができました。例えば、私がつたない韓国語や英語で話すとみんな理解しようと真剣に聞いてくれました。そういったことから、言葉が分からなくても、積極的に話しかけてコミュニケーションをとることが大切だと思いました。そして、学んだことをこれからの生活で活かしていきたいと思います。

最後に私たちにこのような最高の思い出を作ってくださった皆さんに感謝します。そして何よりも私たちを受け入れてくれたホストファミリー、韓国の方々、本当にありがとうございました。

韓国での６日間

星稜中学校１年　米田　果央

韓国へ行く前や飛行機の中では、ホームステイ先のご家族のことだったり、食事のことだったり心配がたくさんでした。でも、ホームステイ先のご家族がとっても優しくて心配が安心に変わりました。夜も私が緊張しているだろうと言って、私が寝るまで起きていてくれました。２日目は韓国で有名なフルーツあめを買って食べさせてくれたり、私の好きなものを見つけると買ってくれたりしました。私が食べたいと言っていた、トゥンカロンまで買ってくれました。とってもうれしくて泣きそうになりました。ホームステイ最後の日には、スーパーやお洋服屋さんへ連れて行ってくれ、たくさんお土産を頂きました。「あぁ、もうバイバイなのか」と離れたくなくなりました。

バイバイした後は、しおりを作りました。みんな個性的なしおりでとっても面白かったです。ホテルはとっても広くておしゃれだったし、とっても安心感がありました。次の日は、学校訪問へ行きました。学校訪問では、ホームステイさせていただいた友達に会えました。とってもうれしかったです。韓国の中学生たちが披露してくれたダンスのクオリティがとてつもなくすごくて、今でも目にやきついています。その後は、図書館へ行きました。韓国の図書館には、アスレチックもありました。小さな子供たちがとっても楽しんでいたのでとってもいいなと思いました。

５日目はチマチョゴリを着ました。チマチョゴリや私に会ったヘアセットまでしてくれてとってもうれしかったです。とってもかわいくてテンションがとっても上がりました。その後は、お洋服に着替えビビンバ作り体験をしに行きました。作り方を教えてくれる方がとってもフレンドリーで面白かったです。食材やスパイスの量を変えることで自分だけのビビンバが作れました。

６日目、最終日は、もう少し韓国にいたいと思う反面、家族や友達に会いたいという反面でした。帰国し、家族と過ごしながらたくさんのことを思い出しました。本当に本当に韓国へ行って良かったと思いました。

物事の味方や考え方が、多方面から見たり、考えたりできるようになりました。思いやりや物事を客観的に見ることの大切さや、挨拶や感謝を伝えることの大切さも分かりました。またホームステイ先のご家族に会いたいです。

研修を振り返って　管理員から

今回、21世紀石川少年の翼派遣団の管理員として、12名の中学生と共に韓国・全羅北道を訪問する機会を頂きました。まず本事業に応募し、参加していただいた団員の皆さんに感謝申し上げます。また、本事業の趣旨をご理解いただき団員の皆さんを送り出していただいた保護者の皆様、そしてご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

団員の皆さんは、韓国への訪問は初めてでしたね。海外へ行くことが初めてだった人も多かったと思います。皆さんが参加した理由は、K–POPが好き、韓国料理が好き、将来海外で働きたいなど様々でした。さて皆さんは、韓国で何を見て、何を感じ、何を考えましたか？

今回の滞在中、ホームステイや学校訪問を通して、よりリアルな韓国を知ることが出来たと思います。韓国の家の中は、意外と日本と似ていましたか？思っていたよりも韓国料理は辛かったですか？韓国の学生がハマっていることは何でしたか？画面の中でしか知らなかった韓国とあなたのその眼で見た韓国。何が違いましたか？

自分が知らなかった世界に行き、自分とは違う文化を体験して、皆さんが感じたこと、考えたことを忘れないでください。それらは自分自身の力でチャレンジした人だけが得られる大切な財産です。自分が今知っている世界以外に目を向けると、まだまだ未知の広大な世界が広がっているということ。自分自身で体験して実感しませんでしたか？ホームステイ先で、「英語がもっと話せたら良いな」とか博物館で「これは学校の歴史の授業で習ったことがあるな」ということをもし感じていたら、今までなんとなく学校で勉強してきたことが、急に大事な意味を持ってくる気がしませんか？もし今回の訪問が、皆さんがそれらに気づくきっかけになっていたら、国際交流に関わる一人の大人として本当に嬉しいです。

今回の訪問は、管理員の私にとって、代えがたい経験になりました。言葉があまり通じなくても臆せずにコミュニケーションを取ろうとする皆さんの姿。文化や習慣が違う中でもそれらを楽しみながら乗り越えていく様子。色々なことを経験し、最後に小松空港に着いた頃には少し大人になった（気がする）顔を見て、非常に嬉しく思いましたし、私自身とても勇気づけられたように思います。

今の世界は様々な問題を抱えています。日韓関係だけ見ても、両国の歴史的な関係に端を発する様々な問題が残っています。そして世界には、戦争や貧困、環境問題など地球規模の課題が山積みです。グローバルに繋がることが当たり前になった今の世界。皆さんの世代がこれから求められるのは、多様な文化と価値観があふれる世界に理解を深めたうえで、この地球に住む人々と一緒に同じ課題の解決に取り組むということです。きっと皆さんには可能です。

自分の好奇心に従い、より大きな視野をもち、たくさんの人に出会い、色々なことにチャレンジをして、ぜひ自分だけの人生を歩んでください。私は皆さんの希望溢れる未来に期待しています。いつか皆さんが歩んだ道を私に教えてください。またどこかで会いましょう！

（国際交流課　主事　徳田　章人）

色紙よせがき

また会いましょう!! 또 만나요!!
ホストファミリーと たくさん交流できて とてもいい経験ができました! これからも韓国語を勉強するなどして交流していきたいです
감사합니다
ホームステイや学校交流などで、たくさんの人と出会えて、私はこの出会いが1番の宝物です!!
21世紀石川少年の翼 韓国全羅北道派遣団
ホストファミリーの家族など韓国の方々はとても優しく、とても尽してくれてとても感動しました。また韓国に行った際は、韓国語を話せるようにしておきたいです。
감사 합니다!!
東ゆり
TPOをわきまえることや、物事の見方が変わりました 韓国の人がとっても優しくて自分まで心がきれいになりました。またホームステイ先のご家族に会いたいです。
人生最高の思い出になりました! 감사 합니다!
今までの中で最高の日になりました。
晋作
たくさんの人に感謝をこめて
韓国ありがとう!!
とってもいい体験ができて、夏休みのいい思い出になりました。
とても充実した6日間でした!! この経験を活かしていきたいと思います!
料理もおいしくて、人もあたたかくて韓国はとってもステキな国でした! 周りの人達への感謝がすごく感じられる旅になりました
감사 합니다

令和５年度
「21世紀石川少年の翼」（韓国・全羅北道派遣）日程

	月　日	都市名	時　間	交通機関	日　　程	宿　泊　先　等
1日目	8月2日（水）	小　松	6：35		小松空港集合	
			7：00		結団式	
			7：40	NH752	小松空港発	
		羽　田	8：50		羽田空港着	
			12：05	NH863	羽田空港発	
			14：25		金浦空港着	
				貸切バス	バスにて移動	
		全（チョン）州（ジュ）	18：30		全州着	
			19：00		ホストファミリー対面式	
					（ホームステイ先各家庭へ）	ホームステイ
2日目	8月3日（木）	全　州	10：30		ホームステイ先より集合	
			11：00		少年の翼訪問団の両県道知事表敬訪問	
					終了後、ホームステイ先各家庭へ	ホームステイ
3日目	8月4日（金）	全　州	14：00		ホームステイ先より集合	
			14：30		文化体験（韓紙工芸体験）	
			17：00		八福芸術工場見学	
			18：00	貸切バス		
					夕食	全州市内ホテル
4日目	8月5日（土）	全　州	8：00		朝食（ホテル）	
			9：30	貸切バス	国際交流センター訪問	
			10：30		全州槿暎(クニョン)中学校訪問	
			11：30		全州市立図書館見学	
			12：30		昼食	
		群（クン）山（サン）	14：00		群山月名(ウオルミョン)中学校訪問	
			16：30		世界スカウトジャンボリー大会見学	
			18：00		夕食	全州市内ホテル
5日目	8月6日（日）	全　州	8：00		朝食（ホテル）	
			9：00	貸切バス	移動（全州→益山）	
		益（イク）山（サン）	9：40		国立益山博物館見学	
			11：30		昼食	
			12：30		移動（益山→全州）	
		全　州	14：00		国立全州博物館見学	
			15：30		韓屋村見学（韓服体験）	
			18：00		ビビンバ作り体験と夕食	全州市内ホテル
6日目	8月7日（月）	全　州	6：00	貸切バス	宿舎発	
			10：00		金浦空港着	
			12：45		金浦空港発	
		羽　田	15：00	NH864	羽田空港着	
			17：05		羽田空港発	
		小　松	18：05	NH755	小松空港着　解団	

令和５年度
21世紀石川少年の翼派遣団（韓国・全羅北道）名簿

管　理　員

NO.	区　　分	氏　　名	所　　属
1	団　長	馳　浩（はせ　ひろし）	石川県知事
2	副団長	沖野　真奈美（おきの　まなみ）	観光戦略推進部 国際交流課長
3	指導員	細川　みどり（ほそかわ）	教育委員会　学校指導課 指導主事
4	指導員	徳田　章人（とくだ　あきひと）	観光戦略推進部　国際交流課 主事

団　　員

NO.	学　　校	氏　　名	学　年
1	金沢市立浅野川中学校	坂野　晋作（さかの　しんさく）	1年
2	国立金沢大学附属中学校	十二　友里（じゅうに　ゆり）	1年
3	金沢市立北鳴中学校	生地　薫（しょうじ　かおる）	2年
4	金沢市立西南部中学校	田口　美愛（たぐち　みあい）	3年
5	津幡町立津幡中学校	竹口　徹（たけぐち　とおる）	3年
6	加賀市立山中中学校	田中　芙樹（たなか　はずき）	2年
7	輪島市立東陽中学校	谷元　恵菜（たにもと　えな）	1年
8	金沢市立西南部中学校	天田　朋杏（てんだ　ともあ）	2年
9	輪島市立輪島中学校	冨水　埜亜（とみず　のあ）	3年
10	志賀町立富来中学校	東　ゆり（ひがし）	2年
11	金沢市立野田中学校	山下　月（やました　るな）	3年
12	星稜中学校	米田　果央（よねだ　かお）	1年

中国・江蘇省青少年交流事業（受入）

期間：令和５年７月26日（水）～31日（月）

中国・江蘇省の豆知識

◎位　置
中国大陸の東部沿海地方の中心部、長江の下流に位置する。
東は黄海、南東に上海市、西は安徽省、北は山東省、南は浙江省に接する。

◎面　積
10.72万km^2

◎人　口
約8,515万人

◎制　度
省が市を、市が県を管轄する行政制度
省直轄市：13
（南京、蘇州、無錫、常州、南通、揚州、鎮江、
連雲港、塩城、徐州、淮安、泰州、宿遷）

◎省　都
南京市

◎江蘇省ホームページ
http://www.jiangsu.gov.cn/（中国語）

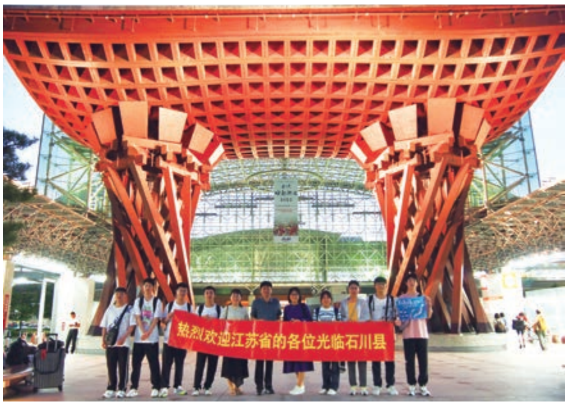
Ishikawa Japan~

~Jiangsu Province China

交流の思い出

関空に到着（馬陵中学）

関空に到着（宿遷中学）



金沢駅に到着

知事表敬

県庁訪問

知事表敬

チアリーディング部の皆さんによる歓迎パフォーマンス（金沢商業高校）

訪問団によるお返しのパフォーマンス（金沢商業高校）

茶道体験（金沢商業高校）

書道体験（金沢商業高校）

茶道体験（金沢商業高校）

書道体験（金沢商業高校）

昼食時間にも交流（金沢商業高校）

茶道部の皆さんと集合写真（金沢商業高校）

書道部の皆さんと集合写真（金沢商業高校）

記念撮影（金沢商業高校）

金箔貼り体験

記念撮影（宿遷中学）

銘々皿が完成（金箔貼り体験）

記念撮影（馬陵中学）

気多大社を参拝

千里浜でバーベキュー

千里浜でバーベキュー

千里浜を望んで

巌門遊覧

増穂浦にて

巌門遊覧

長町オリエンテーリング

長町オリエンテーリング

長町オリエンテーリング

長町オリエンテーリング

交流会

出し物披露（ホストファミリー対面式）

ホストファミリー対面式（成くん、孫くん）

ホストファミリー対面式（朱くん、劉くん）

ホストファミリー対面式（陳くん）

ホストファミリー対面式（張さん）

ホストファミリー対面式（唐くん）

ホストファミリー対面式（張くん）

ホームステイ（米澤さん）

ホームステイ（米田さん）

ホームステイ（曽我さん）

ホームステイ（南さん）

白山の郷土料理

白山手取川ジオパーク（百万貫の岩）

白山手取川ジオパーク（白峰の街並み）

ガイドさんと記念写真（白山手取川ジオパーク）

訪問を終えて

宿遷高級中学１年　朱　子豪

２ヶ月間準備してきた日本への研修旅行がいよいよ出発の日を迎え、この上なく興奮し、日本の様々な風景が何度も頭をよぎりました。省市の指導者、宿遷中学校の王書記、朱主任及び馬陵高校の日本語教師と音楽教師の心のこもった指導と教育に感謝して、私達の８人のクラスメートは一緒に日本語の簡単な挨拶、日本語の自己紹介、日本語の歌を学びました。

今回勉強して、一番驚いたのは日本の人文についてです。７月、うららかな太陽が照りつける中、日本の友人たちの情熱は私たち団員１人ひとりに伝わってきました。大澤さんと張さんの親切な案内、学生たちのおもてなし、知事の気前のよさに親近感を覚え、緊張もほぐれ、人生に大きな絵を描く６日間を迎えました。もう一つ、私が深く感じ入ったのは、日本人の素質の高さ、礼儀と優雅さであり、それはまるで日本人の代名詞を彷彿とさせます。彼らは公共の場で大声を出すことはなく、店では整然と列を作り、店員は親切です。日本人は「ありがとうございます」が口癖で、このような人間性は日本の美しい風景の１つになっています。もう１つ、日本のレストランでは店を出るとき、いつも店長が見送りに出て、お客様が帰っていくのを見届けてから店に戻ります。人口の多い中国ではなかなかできないことなので、異国情緒を感じました。

〈金沢商業高校の生徒たちの熱意は１人ひとりに伝わってきました。彼らの大きな情熱に心打たれました。〉

〈知事のキャリアはとても素晴らしく、高校の国語教師になり、アスリートとしてオリンピックに出場して、今は県知事になっています。知事は私たち生徒１人ひとりに素敵な贈り物をしてくれました。この起き上がりこぼしのように、困難にぶつかっても何度も何度も立ち上がることができるようになりたいです。〉

〈金箔貼り体験：現代の技術と伝統工芸を組み合わせて、金箔工芸画を作りました。金の高貴さを体現するとともに、精巧な技術を表しています。〉

もちろん、今回の活動の成功には多くのスタッフの苦労がありました。ここで、私はもう一度、私達の日本人ガイドの大澤さんと張さん、また私たち訪問団の謝主任、王書記、陳先生に感謝の意を表したいと思います。また、私たちのためにプログラムを作ってくれた鄒先生、そして陰ながら尽力してくださった日本側のスタッフに敬意を表します。

〈愛国心を表現するため、高校生の青春を謳歌するパフォーマンスを行いました。今回の研修のために、謝主任と王書記は何度も退勤後の時間や週末の休みを利用して細部まで指導してくれました。〉

〈古色蒼然とした茶道部と、優雅さを残す書道部。どちらも私たちの心を和ませてくれて、体験に夢中で帰ることを忘れてしまいました。〉

できることならば、再び日本に遊びに来たいです。ここでの体験全てはこんなにも私の心を晴れやかにして、名残惜しく立ち去りがたい気持ちになりました。大学入試後の夏に、私は再び日本に来て、日本の文化をさらに深く理解し、日本の名所を満喫したいです。今後留学の機会があれば、私はきっと迷わずアジアで最も先進的な国---日本を選択すると思います。

今回の研修では多くのことを得て、たくさん成長しました。初めての遠出、故郷を離れての異国への旅立ちは、自己管理をしっかり行うこと、長旅の苦労にも適応しなければなりませんでした。しかし、みんなと一緒に旅することができてとても楽しかったし、全ての指導者、親愛なる友人たちに感謝するとともに、今回の学習の機会を大切にしていきます。今後の学業では、まじめに勉強して、驕らず、学友と互いに助け合って、更に優秀な成績を目指したいと思います。

馬陵高級中学２年　陳　逸

１．旅立ち

７月25日に高速鉄道で上海に行き、26日に飛行機で日本に到着しました。飛行機に乗るのは本当につらかったですが、景色が本当に綺麗でした。日本の住宅は中国と異なり、平屋建てが多く、高層集合住宅が無さそうでいい感じでした。初日は旅の中で過ごすのがとても大変でした。

２．知事表敬

ここで私たちは知事と交流しました。石川県の歴史文化や人文風情に対する理解を深めたほか、知事はレスリング選手として試合に参加したことがあること、また高校教師でもあったことを知り、とてもすごいと思いました。彼に宿遷市の文化、美酒、レスリングチームについて知ってもらったほか、宿遷にぜひとも来ていただき、張栗燚の発言にもあったように党員と有意義な交流をしてほしいです。

３．学校交流

（１）旺盛な情熱

金沢商業高校を訪問して交流しました。エントランスに入るとき、彼らの熱い歓迎を受けました。私たちのために盛大な歓迎式典を開いていただき、プログラムも素晴らしく、とても感動しました。

（２）交流会

その後、私たちはキャンパスホールで学習交流会を行い、私は学生代表としてスピーチができて大変光栄でした。私たち交流団のメンバーを紹介し、今回の交流に対する期待を伝えました。さらには宿遷の文化を紹介し、彼らにぜひ宿遷へ観光に来てくれるようお誘いしました。その後、歌や踊りを披露し、交流会の最後には校長先生のスピーチがあり、私たちもプレゼントを贈り合いました。

（３）サークル見学

交流会の後、私たちは学校のサークルを見学しました。まず茶道部に行き、正座を習ったり、お菓子や抹茶を食べたりしました。お菓子の甘みが抹茶の苦みとよく調和していました。この後、書道部を見学して、書道部員と一緒に習字の練習をしました。練習の後、みんなで記念撮影をしました。

（４）それぞれ金箔作品を制作

時間が経つのは本当に早かったです。学校で昼食を食べた後、みんなで記念撮影をしました。学校を出た後は金箔店に行き、金箔を使ったお皿作りを体験しました。仕上がりは圧巻でした。

４．気多大社を訪ねる

気多大社は数千年の歴史を持ち、能登国がまだ越中国の一部だった天平13年、越中国の一宮が現在の気多大社です。気多大社では神様を拝み、お祈りを行いました。私も勉学をつかさどる神様にお参りして、来年の大学受験でいい成績を取れるようお祈りしました。

午後には海辺でバーベキューを行い、海がとても広がっていました。次の日にも、私たちはまた浜辺に行き、裸足で砂浜を走り、足に触れる水の冷たさを感じました。しばらく学業の悩みを忘れて、自然の恵みを満喫しました。今までになく心の軽くなる感じがありました。

５．高校生との交流会

私たち８人の高校生と日本の高校生とで学習交流をしました。ジェスチャーゲームとタウンオリエンテーリングというゲームを通してお互いの距離を縮めました。お互いの交流を通して、中国と日本の高校生の生活の違いを実感しました。

６．ホームステイ

まず、ホストファミリー対面式で、お互いに話をして、私はホストファミリーの皆さんに向けてパフォーマンスを披露しました。対面式が終わった後、私たちは彼らの自宅を見学しました。ホームステイに行く道すがら、彩乃さんが私の趣味や勉強についてメモで質問してくれました。このようなコミュニケーションに、私はとても心温まるものを感じました。私自身は内気でコミュニケーションが苦手なので、その方がリラックスできたからです。ホストファミリーはとても親切で、お部屋を用意してくれるだけでなく、朝ごはんのメニューも親切に聞いてくれました。

次の日、彩乃さんとお兄さん二人と一緒にゲームセンターに行き、そこでたくさん遊びました。ぬいぐるみをとったり、うまく言えませんがほかのゲームでも遊びました。彩乃さんのお兄さんが取ったぬいぐるみをくれたりして、夜は一緒にレストランで夕食を食べました。そのレストランはアニメに登場した場所です。私たちはたくさん話をして、多くは文化の違いなどですが、私は彼らに中国語を少し教えたりもしました。夕食の後、私達は一緒に花火をしました。花火は小さいですが、とても美しいです。花火は簡単に消えてしまいますが、人情は長く続いていきます。お別れの時はとても名残惜しくて、離れたくありませんでした。今でもそうです。あの時の思い出はとても大切で、私の心に永遠に残っていくでしょう。

７．所感

今回の研修では、苦労や疲れの中から楽しみやリラックスを見つけるとともに、見識を深め、視野を広げる良い機会になりました。昔の人は「万巻の書を読むは万里の道を行くに如かず」と言いました。ひとたび別の風景が自分の視界や思考の中に入ってくると、日々の生活はいつも退屈ではない、すべてのものが美しく、どこもかしこも光に満ちていると感じることができます。游一处风景，寻一处特色；见一处特色，悟一片心得（１つの風景を見、１つの特色を探す；１つの特色を見、１つの心を悟る。）

日本への旅は、これまでの常識を超えた新しい視点で物事を見せてくれました。これまでの常識を超えて、日本という新しい文化的背景を持つ国に溶け込むことは、私たちの発想を広げ、ユニークなヒントを与えてくれます。

日本への旅、それは文化の奥深さです。日本の文化は奥が深くて独特です。和風建築であれ、茶道であれ、または伝統芸術であれ、日本人の精神と生活哲学をあらわしています。日本への旅の意義は、単なる旅行以上に、思考をぶつけ合い、視野を広げ、深く学ぶことができるものでした。

白山手取川ジオパークでは、地元の自然風景を見て、山河を身に染みて感じ、それぞれの場所で風土や人情を感じ、心を豊かにして見聞を広めるだけでなく、心を鍛えて悟りを理解し、大自然を楽しむと同時に、自分の心を晴れやかにして、精神を清めることができました。

壮麗な自然風景は、自然に対する尊敬と畏敬の念を呼び起こします。この地域の人々と知り合うことができれば、人文をもって美しい景色を感じ、生命をもって自然を感じ、自然風景からよりもさらに深い気付きを得ることができると思います。異なる風土は異なる人々を育み、それらすべてがそれぞれに優位性や特色を持っています。まさしく１輪の花には１つの世界が宿り、万花が春を彩ります。

同時に、今回の研修をともにした先生方、学友、特に通訳を務めてくれた張さんとガイドの大澤さんがこの活動のため尽力してくださったことに感謝します。今後またこのような活動に参加する機会があることを祈っています。今後も活動を充実させながら自分を高めていきたいです！

馬陵高級中学１年　劉　宣毅

訪日交流は終わってしまいましたが、旅の記憶はまだ新しいままです。少年の翼の思い出は皆の心に深く刻まれました。

期待を胸に私たちは日本に到着しました。大澤さんと張さんはすでに空港で私たちを待ってくれていました。彼女たちの案内のもと、私たちは日本の新幹線に乗り、今回の旅がスタートしました。

２日目にはまず石川県の馳浩知事を訪ねました。知事は元プロレスラーです。元文部科学大臣で、国語の教師をしていました。この交流の中で、私たち訪問団と中日の教育に対する考え方を述べて、宿遷に来て交流したいと表明しました。

次は学校交流です。大澤さんの案内で、私たちは金沢商業高校に到着しました。生徒たちの熱意に圧倒されました。その後、茶道や書道を学び、昼食を共にしました。食事が終わり、私たちは大勢の先生と生徒に温かく見送られました。

それから気多大社に行きました。創建2000年以上の神社です。ここは自然環境がよく保存されていました。恋愛や学業などをつかさどる神様もいます。

２日目の終わりには、海風に吹かれながらＢＢＱをして、夕陽のもとで青春を謳歌しました。私たちはまさに少年のこのとき、夕陽に映えて輝いていました。

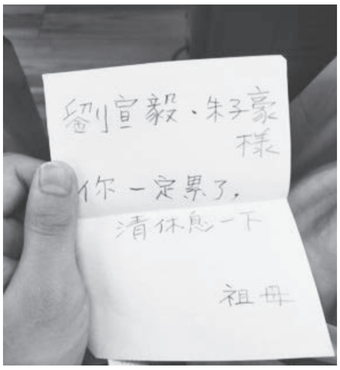
３日目は午前中に能登半島を訪れました。海は澄んでいて、岩には波が打ち寄せていました。

最もエキサイティングな時間がやってきました。それはホストファミリーとの対面式です。朱子豪と二人で同じ家にホームステイをしました。３日目の夜、私たちはホストファミリーのお母さんに会いました。彼女はとても親切で、13歳と７歳の娘、そして３歳の息子を連れていました。お母さんは、おばあさんの家に私たちの部屋を用意してくれました。

次の日、ホームステイ先のお母さんは兼六園、21世紀美術館、金沢城に連れて行ってくれました。浴衣を買ったり、アニメグッズを買ったりして、夜には忙しい中花火大会にも連れて行ってくれました。

その夜、花火が打ち上げられ、夜空を明るく照らし、二人の男の子の夢も照らされました。花火は儚いものですが、気持ちは昂りました。夏の夢はまだ終わっていません。

やがて別れの時、今回の旅で初めて泣きました。人の涙を誘うのは風景ではなく、（お世話になった人との）別れでした。



ホームステイの時間の中では、特にお世話になったお母さんとおばあさんが親切に面倒を見てくれたことに対しての感謝は言葉にはできないほどで、永遠に心に刻みます。

感動的なホームステイの旅を終えて、また大澤さんと張さんの案内で私たちは白山に到着しました。ここでは元来の生態系が残っています。ガイドさんが白山の自然の美しさや70年前に住んでいた人々の暮らしぶりを教えてくれました。

今回の日本への旅はとても意義深く、私たちに豊かな経験と感情の体験を与えてくれたと同時に、私たちの間の友情も深めました。私たちの青春はこの夏に解き放たれました。

最後にすべての団員、特に大澤さんと張さんに感謝します。みんなのおかげで、私たちはこんな素敵な思い出ができたのです。

馬陵高級中学２年　張　栗熒

１週間の日本への旅を経て、私は多くのことを得たと感じています。初めて外国へ行く私は、気持ちがこの上なく興奮していました。異国の地で、身近に知り合いもおらず、自分の独立性が試されるわけですから、その興奮の中にはいくぶん不安も混じっています。もう一つの問題は言葉が通じないことです。私は日本語を学ぶ学生ではありますが、日本語を流ちょうに話せるレベルには達していないので、会話の時にはよくジェスチャーを用いたり、間違った文法を使ったりしました。しかし、これらの間違いは逆に私の日本語のレベルを高め、私は積極的になり、勇気をもって彼らと簡単なコミュニケーションを取ることが出来ました。彼らの話も少し聞き取れるようになり、帰ってから自分のリスニング力が著しく進歩していることに気づきました。以前より間違いが少なくて、とにかく私の日本語は著しく向上しました。石川県知事を訪問したときは、自分が参加者としてこのような大きな場面で発言したことがなく、しかも日本語での発言とあって（緊張は）なかなか収まらなかったのですが、なんとか挨拶を言い終えたときには、自分の恐怖心を克服することができたと感じました。

旅の途中でたくさんの美しい風景を見ました。これらの風景は一幅の絵、一篇の詩のように私たちの目の前に現れ、私たちは澄みきった青い海を見ました。しかし、海洋保護がなければ、私たちはこのような美しい風景をもう一度見ることは到底できません。（これらの自然は）私たちの共通の家だとして、私は環境保護を呼びかけます。

学校に着くと、私たちは金沢商業高校の皆さんの情熱を感じました。準備していただいたプログラムは更に感動的で、歓迎式典が終わった後は、みんな揃って日本の特色ある文化である茶道と書道を体験しました。

（１）茶道は唐宋の遺風を受け継ぎ、日本の伝統美の精髄とされています。抹茶道と煎茶道に分かれており、二つの道には多くの違いがありますが、どちらも古風で静かな美しさが強調され、とても緊張感があります。特に茶道を学ぶ過程で磨かれるのは個人の精神です。

（２）書道は書法の総合芸術で、追求するのは境地、情操と芸術の美です。日本の書道は中国に起源を持っていますが、ほかの文化と同様、独特の風格を発展させてきました。中国の書道とは明らかに異なる美の概念を形成しました。書道の振る舞い、人の道としての振る舞いは完全に一致しています。

その後、地元の高校生と交流したり、ランチを共にしたりして、お互いの国や美しい風景、美食について理解を深めました。彼らが中国に遊びに来て、中国の文化を紹介できることを願っています。

私がこの研修を通して最も感動した瞬間は２つあります。

１つ目はホームステイです。彼らは私のために歓迎式を準備して、とても親切にもてなしてくれて、また辛抱強く私の言葉に耳を傾けてくれました。最後のお別れの時、私は彼らのためにお別れの手紙を準備しましたが、思いがけず、彼らもまた私へ向けたお別れの手紙を書いてくれました。私たちの気持ちは通じ合っています。

２つ目は、研修全体を通じて、大澤さんのおかげでプログラムがつつがなく進行したことです。彼女は私たちによりよい経験をさせるため、詳細な行程を組んでくれました。期間中体調不良になりましたが休みをとることなく、最後まで一緒に行程をこなしてくれました。私たちは彼女にとても感謝しています。もう一度会いたいです。

最後に、もし機会があれば、私は京都大学の大学院に行きたいと思っているので、これからその目標に向けて絶えず努力したいと思います。立身出世をしないと故郷に帰りません。

宿遷高級中学１年　唐　一江

１、交流スケジュール

7月26日：上海発飛行機で大阪、大阪発新幹線で金沢。

7月27日：石川県知事との面会、金沢商業高等学校見学、地元の伝統工芸・金箔貼り体験、千年神社・気多大社見学、海辺でバーベキュー。

7月28日：能登半島観光、日本の高校生７名と親睦会、ホストファミリー対面式。

7月29日：ホームステイ。

７月30日：白山手取川ジオパーク見学。

７月31日：帰路につく

２、在日中の活動

Day１：

７月26日、旅の初日：道中の色々な景色を伴い、１日がかりの移動を経て、7月26日の夜、私たちは金沢に到着しました。地元の風味を持つ特色ある魚料理を食べて、海辺の地ならではの心意気を感じました。

Day２：

７月27日、日本に来て最初の朝、石川県知事---馳浩さんにお会いしました。知事は、体が大きく、気概があるだけでなく、経歴も豊富でとても特異な経歴をもつ方---彼は国語教師やレスリング選手を経て、なんとオリンピックに出場した経験も持つおもしろい方でした。謝団長と知事はお互いに挨拶を交わしたり、贈り物をしたり、その後、知事と私たちは学業や将来の話などについて深く交流して、とても得るものが多かったです。

続いて金沢商業高等学校も見学しました。学校側は私たちを迎えるために十分な準備をして、すばらしい体操（チアリーディング）を披露してくれ、また、歓迎会における日本の学生による中国語での発言には驚くと同時にとても嬉しかったです。もちろん、私たちが用意したパフォーマンスも、皆さんをがっかりさせるものではありませんでした。その後、茶道と書道を体験し、英語サークルの学生たちと一緒に昼食をとりました。

午後は地元の特色である金箔貼りを体験し、千年の歴史を持つ気多大社を見学しました。金箔細工のすばらしさと大社の長い歴史には目を見張るものがあり、感動的でした。

気多大社は、月の下の老人「大国主神」を祀るお寺で、縁結びには格別の力があると言われています。二千年以上経った今でも、同社の建物の多くは昔のまま綺麗に保存されており、後の人々がその習慣を受け継ぎ、私たちの目の前に再現してくれています。

忙しく充実した一日がもうすぐ終わります。潮風と夕焼けに包まれながら、私たちは海辺でバーベキューをしました。水面が波打ち、沈む夕日で空が錦に染まります。私たちの青春がここで咲き誇っています。

Day３：

７月28日、まず能登半島に来て、底の見えるほど青く透き通った海を小舟の上から眺めました。こんなに綺麗な海は初めてでした。水面はどこまでも果てしなく広がっています。时有乱石穿空，惊涛拍岸，巻起千堆雪（そそり立つ岩が空を貫き、波が岸に打ち寄せ、沸き立つ白波は雪が巻き上がるようです。）ビーチにも行きました！全員子供に戻ったように、まだ抜けきっていない自分の子供っぽさを存分に発揮して楽しみました。

午後、私達は７人の日本の学生と知り合い、彼らと一緒に、ジェスチャーゲームをしたり、写真にあるものを街中へ探しに行くゲームをしたりしました。同時に、彼女たちとお互いの学生生活について話すなど交流して、深い友情を築きました。

Day４：

ついにそれぞれのホストファミリーと対面し、ホームステイが始まりました。私の家族は、南岳司おじさん（タケシ）、南愛おばさん（アイ）、南宰兄さん（オサム）の３人です。事前に心を込めて準備したプレゼントを渡すととても喜んでくれました！

7月29日、私は彼らに付き添ってもらい大きいデパートとアニメショップで多くのお土産を買いました。

その後、オサム兄さんと一緒に日本の豆腐作りを体験しました。不器用な私は1時間ちょっとかかり、汗だくになりながらもなんとか完成させました。でも、目の前に自分の手で作った熊さん（の形をした豆腐）を見ると、本当に達成感がありました！

夜にはデパートの屋上で、エキサイティングな花火大会を見ました！花火大会に憧れていた私ですが、今回のきらきらと輝く花火には、とても満足しました！花火を見上げて、一瞬で消えてしまう、でも素晴らしいハイライトは、人生で最高の瞬間がどれだけ煌めき輝いているかを彷彿とさせるものでした。

７月30日午前、ホストファミリーとのお別れの時は本当に名残惜しかったです。この１日の中、おじさん、おばさん、そしてオサム兄さんは私をとても気づかい、私のために十分な準備をしてくれました。特に食べ物のアレルギーを気にかけ、私が嫌いなものを口にしないか

どうか心配してくれました。また、お風呂の時タオルを持っていくのを忘れると、ドアを開けたところに置いておいてくれました。それに、まだ日本に来る前からメールでどんなアニメが好きか聞いて私のためにわざわざ見ておいてくれました。異国の地で、こんなに至れり尽くせりのお世話をしていただき、感謝してもしきれません。きっとまた会えると信じています！

Day 5：
団員が再び集合し、白山手取川ジオパークに到着しました。山や岩がそびえたち、山に緑は映え、川は清らかで、山は険しかったです。さらに、滝が日光の照射の下で千万箇の真珠の玉のように天から流れ落ちて、虹に囲まれました。
さらに白山の伝統的な民家も見学しました。木造家屋の歴史は古く、オリジナリティーに富んでいる構造に感服しました。これこそ、手抜かりがなく、豊かな想像力も備えた職人魂ですね。

７月31日、私たちの旅は終わり、帰路につきました。

３、活動の所感
この旅を振り返ってみると、実に多彩で収穫に満ちていました。私達は自然の風光を味わい、人文の美を感じ、見聞を広めると同時に、真摯な友情を得て、中日友好交流の使命を完成させました。いつかはお別れをするけれど、人生そのものが長いお別れではないでしょうか。これらの別れによって、私たちは素晴らしい経験を感謝とモチベーションに変え、新たな希望を持って未来に進むことができるのです！石川県の皆さん、また会いましょう！
謝主任、王校長の私たちに対する配慮と指導、そして私たちの行程を無事円満に率いてくれたことに感謝します！また、異国での交流をスムーズに行うために通訳してくれた陳先生と張さんに感謝します！そして、今回の行程を立て、体調が悪くなったり、熱が出たりしても、付き添ってくれた大澤さんに感謝します。皆さんの尽力に感謝します。私たちの夏は皆さんのおかげで輝くものになりました。
再び日本に来ることを心から願っています。石川に帰るだけでなく、他の多くの都市にも行きたいです。高校を卒業して大学に進学したら、必ずまた来ます。山川異境、風月同天、私たちの友情は永遠に続きます。
今回の訪日活動に参加する機会をいただきとても光栄でした。中日間の友好交流活動がこれからも続いていくことを願っています。

宿遷高級中学１年　孫　梓翔

１、行程の総覧
2023年７月25日から８月１日まで、訪日交流団の一員として、日本の石川県金沢市を訪問し、金沢商業高校の見学や、日本の一般家庭の訪問、日本の教師や生徒たちと広く深く交流しました。また、石川県知事を訪ね、日本の公務員とも話しました。私たちは日本の家庭に入り、彼らの厚いもてなしを受けました。21世紀美術館などの文化観光スポットを視察し、金箔貼りや花火大会という２つの特色あるイベントを体験し、日本文化について初歩的な理解を得ました。千里浜、兼六園、白山手取川ジオパークなどの自然景観を見学したり、船で福浦港、機具岩などを遊覧したりして、島国ならではの自然を満喫しました。

２、在日中の活動
Day 1：
上海浦東国際空港を出発して、大阪関西空港に着きました。そこで私たちを迎えてくれた日本の連絡員の大澤さんと通訳の張さんに会い、新幹線で今回の目的地の石川県に着きました。路程が長く、列車にいる時間も長かったので、日本の都市と農村の風景を観察する時間はたっぷりありました。日本の都市と農村の差はあまりなく、二つの違いを見分けるには高層ビルがあるかどうかを見なければなりません。日本は国土が狭いため、都市部を走る列車は、まるで竜のようでした。

Day 2：
私たちの旅が本格的に始まりました。午前中は石川県の馳知事を表敬訪問しました。彼は私たちに歓迎の意を表したあと、私たちは両都市の文化的特色について交流を行いました。お互いに贈り物をしたあと、知事は日本の教育の特色や問題点について熱心に話してくれました。特筆すべきは、知事は国語教師出身でプロレスラーも経験しているということです。
続いて、私たちは日本の金沢商業高校を訪問しました。生徒たちが入念に準備してくれた歓迎のダンス（チアリーディング）を鑑賞し、茶道や書道などの日本の文化を体験しました。昼食時には日本の高校生たちと生活や趣味などについて交流し、いくつか中国語も教えました。
金沢は金箔産業に特色があり、様々な金箔工芸品があります。午後は金箔貼りを体験し、金箔の絵を作りました。夕方、千里浜に到着した私たちは、景色を楽しみながら海辺でバーベキューをしました。

Day 3：

午前、私たちは船に乗って厳門を見学しました。その海は透き通って底が見えるくらいです。その後、道の駅や機具岩を見学しました。午後には８人の日本の高校生と交流し、国籍や言語の違いもありますが、深い友情を築きました。

Day 4：

最も緊張する瞬間がやってきました。ホストファミリー対面式です。最初は、言葉が通じずコミュニケーションができないのではないかと心配していましたが、運よく私は中国系の家族を引き当てました。ホストファミリーのお母さんは上海人で、92年に日本に来て、中国と日本の古代文化の専門家であること、それに私ともう一人の学生が一緒にホームステイすることが分かり、心にあった大きなつかえがとれたようでした。ホストファミリーには松本京子さんという同い年の女の子がいて、私たちは彼女のことを英語でCOCOと呼んでいました。

４日目の午前中、お母さんは私たちを日本三名園の一つと称される兼六園に連れて行ってくれました。兼六園という名前は宋代の詩人・李格非が著した『洛陽名園記』から取ったものです。彼は完璧な園林には壮大さ、幽邃さ、人力、蒼古、水泉、眺望という六大要素を兼ね備えなければならないと考えています。この考え方は広く伝播し、日本に伝わり、「兼六園」という名がつきました。その後、お母さんは茶屋街にあるいくつかの展示館を案内してくれて、それから私たちをアニメショップに連れていき、お土産を買ってくれました。夜は一緒に回転すしを食べに行って、歩いて花火大会を見に行きました。

その夜、花火が夜空を照らし、私たちの夢も照らしました。日本の夏のシンボルである花火大会を間近で見るため、もう一人の友人と一緒に川沿いを花火に向かって走っていました。花火の爆音が耳に響き、頭の中で想像していたことが現実になりました。夜空のスクリーンの上にきらびやかな花が咲き乱れ、黒い瞳に映るその瞬間は、まるで時間が止まったかのようで、すべての美しさがここにありました。周りの風も格別にあたたかく、私たちを撫でてゆき、虫の鳴き声が花火の音に呼応して、忘れられない夜になりました。花火が打ちあがるのを見て、毎回これが最後の一発ではないことを祈っていました。花火は儚く、美しさは長くは続かないものですが、私たちの人生と同様、人生の光り輝く瞬間は短い花火のようだと感じます。しかしながら、人情は長く続いていくもので、今振り返ってみると、これまでどれだけ多くの人に助けられてきたかわかりません。大ヒットした映画の裏にはたくさんの尽力があるというのは、この花火と同じです。最後の一発でこの夏の夢は終わり、現実に戻りました。

Day 5：

昨日の夢から覚めるともうお別れの時でした。私たちは１日あまりを一緒に過ごしたホストファミリーに別れを告げ、彼らの協力に感謝しました。最後にいくつかのスポットを見た後は、正式に私たちの日本への旅が終わることを意味しています。帰りの列車や飛行機の中では、ここ数日に見聞きしたことが脳内でスライドショーのように流れ、今日に至るまで、日本から持ち帰ったものを見ると、いまだに心が落ち着かないのです。

これらは確かに、忘れられない大切な思い出です。

３、所感

総じて言えば、今回の日本への旅の意義は特別で、それは１人の少年の脱皮、成長、挑戦を象徴するものです。私たちは「山川異域、風月同天」の文化を身に染みて感じ、日本の民間の友好とおもてなしを感じ、このたびの活動を準備計画した先生や指導者の苦労を感じるとともに、私たちの青春をこのような素晴らしい夏に捧げることができたことに感謝します。人と人の友情に国境はありません。今回の活動をきっかけに、中日両国が民間の友好活動をさらに強化していくことを希望します。文化交流を通じて相手のことをより深く知り、相手を尊重し、誤解を解き、次の世代との関係をよりよくしていくことです。

大澤さんをはじめ日本側のスタッフの私たち訪問団に対する親切で心のこもったおもてなしに心から感謝します。１週間にわたる訪問の中で、日本側の先生が心を込めて手配してくれた活動は、生き生きとしてとても興味深く、私たちの日本の歴史と文化に対する理解をより深めてくれました。金沢商業高校を見学し、日本の生徒たちと交流し、国際的視野を広げることができました。また、様々な食文化を体験できたこと、日本人のホスピタリティを感じることができたことも、とても光栄でした。

今回の訪問は、短い時間ではありましたが、日本の文化と教育に対して深い印象を残しました。私はより長い期間の学術交流や留学の機会に参加して、日本の教育システムをより深く理解し、より多様な知識を学び、日本の学生と思想や文化についてさらに交流を深めることを楽しみにしています。幸いなことに、日本の自然風光と人文の観光地をこの目で見ることができ、それに深く惹かれました。いつかもう一度美しい山河、

名所古刹を見て回ることができる日を楽しみにしています。また、日本の学生たちが私たちの国を訪れて交流し、両国の青少年の相互理解と友情がさらに強化されていくことを大いに期待しています。

宿遷高級中学１年　成　知非

ふと振り返ると、日本への交流は過去のものになっていました。写真をめくるたびに、あの忘れられない旅へと思いを馳せています。

期待に胸をふくらませ、私たちは処長に見送られて上海を発ち、少年の翼は団員の皆を乗せて海の向こう---関西国際空港に到着しました。目的地は石川県、具体的には金沢という古都です。日本側の大澤さん、通訳の張さんはすでに空港で私たちを待っていました。大澤さんの案内で、私たちは日本の新幹線に乗車しました。

1．第一印象

新幹線の速度は国内の高速鉄道のようには速くなく、道のりは遠く、私たちは列車の中で過ごす時間が長かったので、都会と農村の風景を観察する時間が十分にありました。遠くから見ても、農村の環境は整然としていました。日本は都市と農村の差があまりなく、高層ビルがあるかどうかで２つを区別します。日本は国土が狭いため、都市部を走る列車はまるで竜のようでした。私たちは石川県の県都・金沢に到着し、日本に着いてから最初の食事を食べました。シンプルなものでしたが、栄養があり、おいしかったです。

2．知事表敬

２日目、ハードスケジュールが始まりました。まず、石川県庁所在地の馳浩知事を表敬訪問しました。知事は就任２年目で、過去にはレスリング日本一、国語教師、元文部科学大臣、参議院議員などを経験しています。言動やその振る舞いはとてもきびきびしていました。私たちはそれぞれの故郷や中日の教育面での観点などを紹介しました。表敬訪問の最後には、改めて知事に宿遷を訪問していただくようお願いし、お互いに地元の特産品を贈り合いました。

３．生徒との交流

知事と他の職員たちに見送られて、私たちは県庁を離れ、金沢商業高校に向かいました。学校に到着すると、生徒たちの礼儀正しさと熱意のあるパフォーマンスにすぐに文化の違いを感じました。私たちは心を込めて練習した日本語の歌「いつも何度でも」、「北国の春」、江蘇省の民謡「茉莉花」を披露し、歌で中日友情の大切さを表現しました。今回の交流に参加したのは書道部の学生で、私たちは一緒に茶道部の和やかな雰囲気の中、一対一で体験を行って、慣れないながらも熱心に取り組みました。活動の中で私は即興で英語を使ってコミュニケーションをとりました。国も育った環境も違いますが、同じ青少年として、似たような趣味や将来の計画を持っていました。

４．風光民俗

金沢商業高校を出て、気多大社に来ました。ここは、月の下の老人「大国主神」を祀っているお寺で、縁結びに特別な力があると言われています。二千年以上経った今でも、同社の建物の多くは昔のまま綺麗に保存されており、後の人々がその習慣を受け継ぎ、私たちの目の前に再現してくれています。また、気多大社へ向かう道中、私たちは特色ある文化体験---金箔貼り体験をしました。これは北京に行ったら必ず万里の長城を見なければならないのと同じです。この日は千里浜海水浴場で終わり、心地よい海風に吹かれながら手作りのＢＢＱを楽しみ、夕日の下で青春を満喫しました。私たちは最高の時間を過ごしました。

３日目の午前中、私たちは能登半島を視察しました。海は透き通っていて、岸辺は奇岩だらけで、女性陣は砂浜で日光浴をし、男性陣は波を追いかけ続けていました。午後には８人の日本の高校生と交流し、国籍や言語の違いにもかかわらず、深い友情を築きました。

５．ホームステイ

最もエキサイティングで緊張感のある時間がやってきました。ホストファミリー対面式です。最初は、言葉が通じずコミュニケーションができないのではないかと心配していましたが、運よくホストファミリーのお母さんは上海人で、92年に日本に来た華僑の方でした。それに私ともう一人の学生が一緒にホームステイするということで、もう心配で慌てふためくことはありませんでした。ホストファミリーのお母さんの夫はすでに亡くなっており、２人の娘を育てていて、日本人のおばあさんを家政婦として雇っていました。長女は東京の大学に通っており、次女は高校生ですから私たちと同い年です。次女の名前は松本京子さんです。京子さんは英語が上手で、賞をもらったこともあるので、英語でのコミュニケーションに支障はありませんでした。次女の育て方について、中国国内とは違うこ

とをお母さんから聞きました。京子さんの興味・関心に依って教育するというのは、京子さん自身がそれだけ多才なのでできることなのでしょう。お母さんの家は川に面した三階建ての一軒家で、私たちは一階の掃除された納戸に住んでいました。朝食は伝統的な日本の定食で、おばあさんは料理がとても上手でした。

ホームステイでは、日本三名園の一つである兼六園、金沢古城、茶屋街、21世紀美術館などを見学し、日本の風習と伝統文化を味わいました。お母さんの案内はとても充実していて、感謝に堪えません。

その夜、花火が夜空を照らし、私たちの夢も照らしました。日本の夏のシンボルである花火大会を間近で見るため、もう一人の友人と一緒に川沿いを花火に向かって走っていました。花火の爆音が耳に響き、頭の中で想像していたことが現実になりました。夜空のスクリーンの上にきらびやかな花が咲き乱れ、黒い瞳に映るその瞬間は、まるで時間が止まったかのようで、すべての美しさがここにありました。周りの風も格別にあたたかく、私たちを撫でてゆき、虫の鳴き声が花火の音に呼応して、忘れられない夜になりました。花火が打ちあがるのを見て、毎回これが最後の一発ではないことを祈っていました。花火は儚く、美しさは長くは続かないものですが、私たちの人生と同様、人生の光り輝く瞬間は短い花火のようだと感じます。しかしながら、人情は長く続いていくもので、今振り返ってみると、これまでどれだけ多くの人に助けられてきたかわかりません。大ヒットした映画の裏にはたくさんの尽力があるというのは、この花火と同じです。最後の一発でこの夏の夢は終わり、現実に戻りました。

楽しい時間は短いもので、昨夜の夢から覚めたら、もうお別れの時でした。私たちは一日以上一緒に過ごしたホストファミリーに別れを告げ、彼らの協力に感謝しました。私は別れには慣れていますが、このとき、李煜の詩『帘外雨潺潺』にある「独自莫凭栏，无限江山，别时容易见时难（独り欄干によりかかることなかれ、果てまで続く山河はもうそこにはありません、別れるのは簡単、再び会うことは難しいのです）」という言葉を思い出しました。今日別れれば、次はいつ会えるでしょう。最後にいくつかのスポットを見た後は、正式に私たちの日本への旅が終わることを意味しています。帰りの列車や飛行機の中では、ここ数日に見聞きしたことが脳内でスライドショーのように流れ、今日に至るまで、日本から持ち帰ったものを見ると、いまだに心が落ち着かないのです。

これらは確かに、忘れられない大切な思い出です。

６．所感

総じて言えば、今回の日本への旅の意義は特別で、それは１人の少年の脱皮、成長、挑戦を象徴するものです。私たちは「山川異域、風月同天」の文化を身に染みて感じ、日本の民間の友好とおもてなしを感じ、このたびの活動を準備計画した先生や指導者の苦労を感じるとともに、私たちの青春をこのような素晴らしい夏に捧げることができたことに感謝します。人と人の友情に国境はありません。今回の活動をきっかけに、中日両国が民間の友好活動をさらに強化していくことを希望します。文化交流を通じて相手のことをより深く知り、相手を尊重し、誤解を解き、次の世代との関係をよりよくしていくことです。

総じて３点あります。

１つ目は、人と人との付き合いは誠実に向き合うことです。訪日観光客に対するおもてなしやホストファミリーとの付き合いから、日本人は人との接し方を重視していると感じました。中には内気な人もいますが、皆私たちと誠実に接してくれます。マナーの細部にまでこだわっている姿を見て、思わず自分は彼らのようになれるのだろうかと考えました。人に対してどのような態度をとるかによって、その後普遍的に付き合っていけるかどうかが決まり、それはまさしく私たちが仲良く付き合っていくことの土台になります。２人が対話するとき、本質的には平等であり、相手を尊重するという共通認識があるからこそ対話は継続できるのです。もし今後彼らが私の故郷に来ることがあれば、きっと彼らにも私たちの文明を感じてもらえると思います。

２つ目は、成功は集中から生まれるということです。日本の匠の精神を、今回の旅で実感しました。彼らの時間の使い方には感心しました。いつ何をするというのはほとんど同じですが、すべて順序立てて進んでいきます。このようなきちんとした精神を勉強に応用すれば、効率が格段に上がるだけでなく、勉強そのものも楽になると思います。思いついたことを手当たり次第に実行しても負担が増えるだけ結果が出ません。これは、経済も国も同じです。

３つ目は、団結は力ということです。今回の旅行をめぐっては、多くの人が心血と時間を注ぎました。私たちは１つの堅固な団体であり、事前準備から問題に直面したときの態度に至るまで、有無を言わせない団

結の力を私にフィードバックしました。このような連帯感があったからこそ、私たちの活動を予定どおりに進められたのです。もちろん、毎日の行程を組んでくれた日本側スタッフの苦労も忘れません。彼らの保障があってこそ、私たちはこの夏に素晴らしい思い出を残すことができました。

最後に今回の活動に関わってくださった全てのメンバーと、日本側の皆さん、特に大澤さんの心のこもった接待に感謝します。今後、また日本、金沢を訪れる機会に恵まれることを期待して、中国と日本の皆さんの友情がこの先も永遠に続くことを願っています。

馬陵高級中学１年　張　耀月

石川県庁

午前９時30分に県庁に到着し、一日の旅が正式に始まりました。知事にお会いするときはとても緊張しましたが、中国の青少年の代表として皆最高の状態でお目にかかることができたと思います。知事の経歴は素晴らしく、高校の国語教師、アスリートとしてオリンピックへ参加し、今は知事をしています。私たちは色んなことについて討議を交わし、最後には私たち１人ひとりに素敵な贈り物をくれました。私たちもこの起き上がりこぼしのように、何度困難に直面しても立ち上がっていきたいです。

金沢商業高校

金沢商業高校で日本の高校生と交流しました。茶道部と書道部を訪れ、日本の高校ならではの体験をして、一緒にお昼ご飯を食べ、交流しました。気の合う友達ができて、国をまたいだ友情を築きました。皆とても明るく、言葉は違っても、私たちは同じ今このときに青春を過ごしています。自分の生活や住む街について色んな話をしました。

金箔貼り体験

午後は金沢市で有名な金箔貼り体験で小さなお皿を作りました。皿の上に好きな図案をのせてその上から金箔を貼るとできあがりです。

海辺

ご存じのとおり日本は細長い島国ですので、日本といえば海を思い浮かべるのは自然なことです。私たちは旅の１日の中でたくさんの浜辺に行きました。どれもそれぞれに特徴があって、小さくて美しい貝殻がたくさんある海岸や、車で走れる海岸、海水がとても澄んでいる海岸などです。

Home’s day（ホームステイ）

ホストファミリーと対面するときはとてもわくわくしました。

最初はホストファミリーには四人姉妹がいるということしか知りませんでしたが、一緒に過ごしてお互いの故郷などを紹介しあい、中国に会いに来てもらう約束もしました。

偶然にもホームステイしていたその夜に花火大会があり、子どもたちは大喜びで、一緒に見に行きました。おばあさんが着物（浴衣）を着せてくれて、とても綺麗でした。

花火大会

日本の花火大会は、花火の形がとてもきれいです。公園には浴衣を着た人がたくさんいて、私の浴衣はホストファミリーのお母さんがくれたものです。とても不思議だったのは、この暑い夏の日でも虫が全然いなかったことです。日本では、花火と音楽が一緒になっていて、曲のいいところで花火が次々と夜空に咲いていきました。

白山手取川ジオパーク

日本には十数のジオパークがありますが、白山手取川ジオパークもその１つです。中には100年以上の歴史を持つ建物もたくさんありました。どれも完全で、清潔に保存されていました。

将来に向けて

「少年の翼」---石川県への旅はたくさんの美しい思い出があり、異国の友人とも知り合い、同世代の生活や勉強のことについて理解し、現地の風土人情についても見識を広げることができました。

短い時間に結んだ友情の花が根を張り、成長を続け、時がたつほどに成熟していき、中日両国の新しい絆となっていくことを願っています。

来年は異国の友人たちをホストとして迎えられることを願っています。この機会にお互いをより深く知ることができると思います。

研修を振り返って　管理員から

2023年７月26日から31日、江蘇省宿遷市の２つの重点高校からなる「少年の翼」宿遷青少年友好訪日団が日本の石川県を訪問し、５日間の友好交流活動を行いました。学校交流、ホームステイ、文化体験等を含む行程はスムーズに、円満に行われました。

訪問中、代表団一行は馳浩石川県知事と会見し、手厚いもてなしを受け、団長からは宿遷市の経済、社会の発展状況を説明しました。互いに、教育や経済貿易、観光など多くの分野で協力していきたいということで一致しました。

石川県では多彩な文化交流活動が企画されていました。金沢商業高校では、両校の先生と生徒が書道や茶道などの文化体験を通じて熱心に交流しました。また、金沢城、兼六園などでは、石川県の人文歴史、伝統工芸や自然を味わいました。生徒たちは、ホームステイで日本の日常生活や風土人情を直に体感し、友情を深めました。宿遷市における石川県の評判は高まり、対日交流協力の新たなルートを切り開き、中日民間友好交流のために、力を培いました。

石川県の皆様の周到な準備と温かなもてなしに感謝するとともに、来年石川県の友人たちを迎えることを楽しみにしています。

石川県の友人たちと私たちは同じ望みを持っていると確信しています。それは、互いを知り、助け合い、向き合っていくことです。

100年に一度の大転換期を迎えている世界に直面し、また中日国交正常化50周年を迎えたばかりの節目に、梅屋庄吉と孫文、藤野厳九郎と魯迅がそうであったように、石川県での経験は、中日友好の強力な推進、自信に満ちた人文交流の発展、経済貿易協力の実務的な開拓によって、私たちを中日関係の新たなステージに向けて後押ししてくれることでしょう。

宿遷市人民政府
香港・マカオ事務弁公室副主任　謝　紅梅
（一部抜粋・翻訳）

令和５年度
「21世紀石川少年の翼」（中国・江蘇省青少年訪問団受入）日程

	月　日	時　刻	日　　程	宿　泊　先
1日目	7月26日（水）	10：05 13：20 15：44 19：16 20：05	上海浦東国際空港発（MU515） 関西国際空港着 関西国際空港発 金沢駅着 夕食	ホテルトレンド金沢駅前
2日目	7月27日（木）	9：30 10：45 13：45 15：40 16：40 17：00	知事表敬 学校訪問（金沢商業高校） 金箔貼り体験（金沢カタニ） 気多大社 千里浜 夕食	ホテルウェルネス能登路
3日目	7月28日（金）	9：30 10：45 14：30 18：00	巌門（能登金剛遊覧船） 道の駅とぎ海街道 交流会（長町オリエンテーリング） ホストファミリー対面式	ホームステイ
4日目	7月29日（土）		ホームステイプログラム	ホームステイ
5日目	7月30日（日）	10：45 11：45 13：15 18：00 19：00	ホームステイ先より県庁集合 昼食 白山手取川ジオパーク 夕食 イオンモール新小松	ホテルグランビナリオ小松
6日目	7月31日（月）	8：30 9：05 12：57 16：25 17：40	ホテル発 小松駅発 関西国際空港着 関西国際空港発（CA858） 上海浦東国際空港着	

令和５年度
「21世紀石川少年の翼」（中国・江蘇省青少年訪問団）名簿

管理指導員

NO.	区　　分	氏　　名	所　　属
1	団　長	シャ　コウバイ 謝　紅梅	宿遷市人民政府 香港･マカオ事務弁公室副主任
2	管理員	オウ　クン 王　勲	宿遷高級中学党委員会　副書記
3	管理員	チン　キジョ 陳　貴如	馬陵高級中学　日本語教師

団　　員

NO.	学　　校	氏　　名	学　年	ホームステイ先
1	馬陵高級中学	チョウ　ヨウゲツ 張　耀月	１年	冨　水　埜　亜
2	馬陵高級中学	チョウ　リツケイ 張　栗焚	２年	米　澤　日　菜
3	馬陵高級中学	チン　イツ 陳　逸	２年	曽　我　彩　乃
4	馬陵高級中学	リュウ　センキ 劉　宣毅	１年	米　田　果　央
5	宿遷高級中学	シュ　シゴウ 朱　子豪	１年	
6	宿遷高級中学	ソン　シショウ 孫　梓翔	１年	松　本　京　子
7	宿遷高級中学	セイ　チヒ 成　知非	１年	
8	宿遷高級中学	トウ　イッコウ 唐　一江	１年	南　　　宰

「21世紀石川少年の翼」これまでのあゆみ

韓国・全羅北道

回	年度	派遣				受入	
		日程	団長	副団長	参加人数	日程	参加人数
1	昭和61年度	8月4日(月)～8月8日(金)	中西知事	吉田教育次長	100	－	－
2	昭和62年度	8月3日(月)～8月7日(金)	杉山副知事	善　局長	100	－	－
3	昭和63年度	8月5日(金)～8月9日(火)	中西知事	吉田参与	125	－	－
4	平成元年度	8月9日(水)～8月14日(月)	中西知事	吉田参与	92	7月27日(木)～8月2日(水)	61
5	平成2年度	8月8日(水)～8月13日(月)	杉山副知事	山田局長	90	7月26日(木)～7月31日(火)	110
6	平成3年度	8月7日(水)～8月12日(月)	肥田教育長	柏木局次長	110	7月25日(木)～7月30日(火)	110
7	平成4年度	8月5日(水)～8月10日(月)	中西知事	寺西局長	110	7月23日(木)～7月28日(火)	98
8	平成5年度	8月5日(木)～8月10日(火)	太田副知事	佐藤県参事	110	7月22日(木)～7月27日(火)	118
9	平成6年度	8月5日(金)～8月10日(水)	谷本知事	山岸局長	111	7月27日(水)～8月1日(月)	164
10	平成7年度	8月6日(日)～8月11日(金)	山岸局長	－	104	7月26日(水)～7月31日(月)	114
1	平成8年度	8月4日(日)～8月9日(金)	竹部教育参事	越島局次長	75	7月24日(水)～7月29日(月)	86
2	平成9年度	8月3日(日)～8月8日(金)	中山教育次長	－	62	7月23日(水)～7月28日(月)	85
3	平成10年度	8月9日(日)～8月14日(金)	北川局長	－	71	7月29日(水)～8月3日(月)	77
4	平成11年度	8月8日(日)～8月13日(金)	倉本教育次長	－	66	7月28日(水)～8月2日(月)	70
5	平成12年度	8月6日(日)～8月11日(金)	上乗教育次長	－	50	7月26日(水)～7月31日(月)	50
6	平成13年度	8月8日(水)～8月13日(月)	村井教育次長兼学校指導課長	－	47	7月25日(水)～7月30日(月)	50
7	平成14年度	8月7日(水)～8月12日(月)	鹿野教育ｾﾝﾀｰ所長	－	37	7月24日(水)～7月29日(月)	41
8	平成16年度	7月23日(金)～7月28日(水)	金田教育次長	－	18	8月6日(金)～8月11日(水)	20
9	平成17年度	7月22日(金)～7月27日(水)	太田課長	－	14	8月3日(水)～8月8日(月)	17
10	平成18年度	8月4日(金)～8月9日(水)	豊原課長	－	16	7月26日(水)～7月31日(月)	20
11	平成19年度	7月25日(水)～7月30日(月)	井川寺井高校長	－	14	8月8日(水)～8月13日(月)	12
12	平成20年度	8月8日(金)～8月13日(水)	三国局長	－	15	7月30日(水)～8月4日(月)	15
13	平成21年度	8月19日(水)～8月24日(月)	田西課長	－	23	－	－
14	平成23年度	8月5日(金)～8月10日(金)	北村次長	－	13	－	－
15	平成24年度	－	－	－	－	8月8日(水)～8月13日(月)	12
16	平成25年度	7月26日(金)～7月31日(水)	木島課長	－	13	－	－
17	平成26年度	－	－	－	－	7月23日(水)～7月28日(月)	13
18	平成28年度	7月29日(金)～8月3日(水)	戒田課参事兼課長補佐	－	8	－	－
19	平成29年度	－	－	－	－	8月4日(金)～8月9日(水)	12
20	平成30年度	7月27日(金)～8月1日(水)	北川課参事兼課長補佐	－	12	－	－
21	令和元年度	－	－	－	－	1月17日(金)～1月22日(水)	8
22	令和5年度	8月2日(水)～8月7日(月)	馳知事	－	12	－	－

※1　平成7年度までは、「日韓少年交流事業」として実施
※2　交流団体は、昭和61年度～平成9年度は「世界文化交流協会」、平成10年度～は「韓国青少年連盟」、平成16年度～は「韓国青少年全北連盟」、平成28年度～は「全羅北道庁国際協力課」
※3　全羅北道への派遣は平成12年度から、受入は平成16年度から実施
※4　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※5　平成21年度は新型インフルエンザの影響により受入を中止
※6　平成27年度は中東呼吸器症候群（MERS）の影響により中止
※7　令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止
※8　令和3・4年度はオンラインでの実施

中国・江蘇省

回	年度	派遣				受入	
		日程	団長	副団長	参加人数	日程	参加人数
1	平成8年度	8月5日(月)～8月10日(土)	谷本知事	山岸局長	20	7月23日(火)～7月28日(日)	8
2	平成9年度	8月9日(土)～8月14日(木)	山岸局長	－	20	7月23日(水)～7月28日(月)	8
3	平成10年度	8月16日(日)～8月21日(金)	中村教育次長	－	20	7月29日(水)～8月3日(月)	8
4	平成11年度	8月15日(日)～8月20日(金)	中西局長	－	12	7月28日(水)～8月2日(月)	8
5	平成12年度	8月13日(日)～8月18日(金)	東局次長	－	20	7月26日(水)～7月31日(月)	8
6	平成13年度	8月5日(日)～8月10日(金)	中西局長	－	19	7月25日(水)～7月30日(月)	8
7	平成14年度	8月4日(日)～8月9日(金)	大井局長	－	16	7月24日(水)～7月29日(月)	8
8	平成16年度	7月24日(土)～7月28日(水)	竹中次長	－	16	8月5日(木)～8月10日(火)	8
9	平成17年度	7月24日(日)～7月29日(金)	山本国際交流協会専務	－	5	8月2日(火)～8月7日(日)	10
10	平成18年度	8月3日(木)～8月8日(火)	山口県参事	－	5	7月20日(木)～7月25日(火)	10
11	平成19年度	7月24日(火)～7月29日(日)	豊原課長	－	8	8月7日(火)～8月12日(日)	8
12	平成20年度	8月3日(日)～8月8日(金)	岩本学校指導課長	－	5	7月24日(木)～7月29日(火)	8
13	平成21年度	8月20日(木)～8月25日(火)	八十田七尾高校長	－	6	8月6日(木)～8月11日(火)	8
14	平成22年度	－	－	－	－	8月19日(木)～8月24日(火)	8
15	平成23年度	7月28日(木)～8月2日(火)	田西国際交流協会専務	－	10	－	－
16	平成24年度	－	－	－	－	7月26日(木)～7月31日(火)	8
17	平成25年度	7月26日(金)～7月31日(水)	田西国際交流協会専務	－	4	－	－
18	平成26年度	－	－	－	－	7月24日(木)～7月29日(火)	8
19	平成27年度	7月30日(木)～8月4日(火)	藤村課長	－	5	－	－
20	平成28年度	－	－	－	－	7月21日(木)～7月26日(火)	8
21	平成29年度	8月3日(木)～8月8日(火)	戒田課参事兼課長補佐	－	8	－	－
22	平成30年度	－	－	－	－	7月26日(木)～7月31日(火)	8
23	令和元年度	7月25日(木)～7月30日(火)	戒田課長	－	8	－	－
24	令和5年度	－	－	－	－	7月26日(水)～7月31日(月)	8

※1　交流団体は、「中国江蘇省人民対外友好協会」
※2　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※3　令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止
※4　令和3・4年度はオンラインでの実施

ロシア・イルクーツク州

回	年　度	派	遣			受	入
		日　程	団　長	副団長	参加人数	日　程	参加人数
1	平成10年度	−	−	−	−	7月29日(水)～8月5日(水)	9
2	平成11年度	8月13日(金)～8月20日(金)	大蔵教育次長	−	8	−	−
3	平成12年度	−	−	−	−	7月21日(金)～7月28日(金)	11
4	平成13年度	8月17日(金)～8月24日(金)	東　局　次　長	−	8	−	−
5	平成14年度	−	−	−	−	7月19日(金)～7月26日(金)	10
6	平成16年度	7月31日(土)～8月7日(土)	新　宅　局　長	−	9	−	−
7	平成17年度	−	−	−	−	7月30日(土)～8月6日(土)	10
8	平成18年度	7月29日(土)～8月5日(土)	上田金沢泉丘高校長	−	8	−	−
9	平成19年度	−	−	−	−	8月5日(日)～8月12日(日)	8
10	平成20年度	8月4日(月)～8月11日(月)	向　峠　次　長	−	8	−	−
11	平成22年度	8月1日(日)～8月6日(金)	良澤課参事兼課長補佐	−	8	−	−
12	平成23年度	−	−	−	−	8月5日(金)～8月12日(金)	7
13	平成24年度	8月3日(金)～8月11日(土)	北　村　次　長	−	10	−	−
14	平成25年度	−	−	−	−	7月22日(月)～7月29日(月)	8
15	平成26年度	8月1日(金)～8月9日(土)	清　水　次　長	−	10	−	−
16	平成27年度	−	−	−	−	7月22日(水)～7月29日(水)	8
17	平成28年度	8月2日(火)～8月9日(火)	藤　村　課　長	−	9	−	−
18	平成29年度	−	−	−	−	7月23日(日)～7月29日(土)	7
19	平成30年度	7月31日(火)～8月7日(火)	坂　井　課　長	−	8	−	−
20	令和元年度	−	−	−	−	7月21日(日)～7月28日(日)	9

※1　交流団体は、「ロシアイルクーツク州政府」
※2　平成15年度は新型肺炎（SARS）の影響により中止
※3　平成21年度は新型インフルエンザの影響により中止
※4　令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止
※5　令和3年度はオンラインでの実施
※6　令和4・5年度は国際情勢に鑑み中止

令和5年度「21世紀石川少年の翼」実行委員会委員名簿

職　名	氏　名	備　考
石川県観光戦略推進部長	竹内　政則	委員長
石川県市長会事務局長	桶田　光一	監査委員
石川県町長会事務局長	西本　光弘	〃
石川県高等学校長協会会長	岡橋　勇侍	委　員
石川県小中学校長会副会長	六田　茂行	〃
石川県健民運動推進本部事務局長	針木　江津子	〃
石川県教育委員会学校指導課長	北島　公之	〃
石川県教育委員会生涯学習課長	岩木　智子	〃
石川県健康福祉部次長兼 少子化対策監室子育て支援課長	田村　博	〃
石川県観光戦略推進部国際交流課長	沖野　真奈美	事務局長

（以上10名）

令和５年度 21世紀石川少年の翼交流事業報告書

発　行　「21世紀石川少年の翼」実行委員会
（石川県観光戦略推進部国際交流課内）

〒920-8580　石川県金沢市鞍月１丁目１番地
TEL 076-225-1382　FAX 076-225-1383
http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kokusai/
Eメールアドレス　e200500@pref.ishikawa.lg.jp

21世紀石川少年の翼
交 流 事 業 報 告 書